

# 令和 7 年度以降の官民一体型学校の在り方に関する提言

令和 6 年 2 月

武雄市官民一体型学校評価委員会



## 令和7年度以降の官民一体型学校の在り方に関する提言

武雄市官民一体型学校評価委員会は、平成27年度から取り組まれている官民一体型学校の取組みについて、児童や教職員、各地域学校協働本部、卒業生を対象に実施した各種調査をもとに、その事業効果と令和7年度以降の事業の在り方について検討を行い「官民一体型学校 事業評価と今後の事業の在り方について」を提言としてとりまとめました。

本提言を十分に踏まえ、令和7年度以降の事業計画を策定いただきますようお願いいたします。

令和6年2月16日

武雄市教育長 松尾 文雄 様

武雄市官民一体型学校評価委員会

委員長 飯田史也

# 官民一体型学校 事業評価と今後の事業の在り方について

= 目次 =

<本編>

	ページ
1. 目的	2
2. 委員会の経緯	2
3. 評価項目	2
(1)主要評価項目	
(2)副次的評価項目	
4. 評価に用いる資料	3
(1)主要評価項目の評価に用いる資料	
(2)副次的評価項目の評価に用いる資料	
5. 主要評価項目に関する現状分析と評価	3
(1)主要評価項目の分析手順	3
(2)主要評価項目の現状分析のポイント	14
(3)主要評価項目に関する評価	14
6. 副次的評価項目に関する現状分析と評価	14
(1)「地域連携の効果と課題」に関する現状分析のポイント	14
(2)「学校における他の教育活動とのバランス」に関する現状分析のポイント	15
(3)副次的評価項目に関する評価	15
7. 総評・提言	16

<資料編>

【資料1】平成27年度 官民一体型学校「武雄花まる学園」設立主旨と教育ビジョン

【資料2】児童・教職員による児童の行動面・学習面の調査結果の経年変化

【資料3】卒業生による教育に関する意識調査結果

【資料4】学校・地域・公民館による運営面調査結果

## 1. 目的

武雄市と武雄市教育委員会、株式会社こうゆう(以下、花まる学習会)の連携協定に基づき平成 27 年度 4 月から令和 7 年 3 月までの 10 年間で取り組んでいる「官民一体型学校」について、武雄市官民一体型学校評価委員会を設置し、これまでの取組みの評価を行い、令和 7 年 4 月以降の取り扱いについて、武雄市教育委員会に対し提言を行うことを目的とする。

## 2. 委員会の経緯・開催状況

- 令和 5 年 5 月 16 日 武雄市教育委員会において、「武雄市官民一体型学校改善検討委員会設置要綱」を「武雄市官民一体型学校評価委員会設置要綱」へ改訂。
- 7 月 24 日 第 1 回委員会を開催。委員 17 名を委嘱し、委員長及び副委員長を選出。年間スケジュールや現状把握のための調査内容について確認。
- 11 月 27 日 第 2 回委員会を開催。各調査結果の報告及び、調査結果を踏まえた意見交換。
- 令和 6 年 1 月 23 日 第 3 回委員会を開催。現地視察及び各種調査結果の報告。「令和 7 年度以降の官民一体型学校の在り方に関する提言(案)」について審査・協議。
- 2 月 16 日 第 4 回委員会を開催。「令和 7 年度以降の官民一体型学校の在り方に関する提言(案)」について確認・承認。

## 3. 評価項目

### (1) 主要評価項目

官民一体型学校の事業評価にあたっては、令和 7 年度以降の事業実施の根幹となる「協定の取り扱い」について提言を行う必要があるため、連携協定に掲げる目的に対しての事業効果について評価を行う。

#### **【参考】協定書 第 1 条(目的)**

3者は、多様性を認め合い、互いに学びあう教育への転換が求められている現在の成熟社会において、お互いのノウハウや活力を融合させることにより、子どもの生き抜く力を育む教育を実践する。

事業の実施にあたっては、協定書に掲げる目的をより具体化した「設立主旨と教育ビジョン」【資料1】において、子どもたちの育むべき力が定められており、それらの項目を主要評価項目及び評価項目(中)とし、その達成度の評価を行う。

### ア. 主要評価項目

**設立趣旨：たくましく自立できる人間を育む の実現**

## イ. 評価項目(中)

### (ア)教育ビジョン：「個」の力を最大化するために育みたい8つの力の達成状況

- ①自己を肯定する力 ②達成を感じる力 ③集中する力 ④記憶する力
- ⑤文字を読む力 ⑥計算する力 ⑦大きな声を出す力 ⑧イメージする力

### (イ)教育ビジョン：「集団」の力を最大化するために育みたい8つの力の達成状況

- ①多様な意見を聴く力 ②力自分の考えを変える力 ③伝えあう力 ④課題を解決する力
- ⑤思いやる力 ⑥がまんする力 ⑦リーダー力 ⑧調整（仲裁）する力

## (2)副次的評価項目

本事業の主たる実施者となる学校においては、限られた時間と人的資源の中で本事業に取り組んでいる。事業開始から9年目を迎え、個別最適な学び・協働的な学びへの転換や、ICT教育の進展、特別支援・不登校の増加など学校を取り巻く環境は大きく変化しており、それらの新たな課題への対応に踏まえながら、本事業の今後の在り方を検討する必要がある。また、本事業の実施にあたっては、学校と地域学校協働本部を中心にした地域住民の連携した支援が行われている。事業の永続性を評価するという視点から、学校における他の教育活動とのバランスや地域連携による効果と課題を本事業の副次的評価項目として評価を行い、事業評価の参考とする。

## ア. 副次的評価項目

### (ア)地域連携の効果と課題

### (イ)学校における他の教育活動とのバランス

## 4. 評価に用いる資料

### (1)主要評価項目の評価に用いる資料

- 【資料2】 児童・教職員による児童の行動面・学習面の調査結果の経年変化
- 【資料3】 卒業生による教育に関する意識調査結果(補助資料)

### (2)副次的評価項目の評価に用いる資料

- 【資料4】 学校・地域・公民館による運営面調査結果(補助資料)

## 5. 主要評価項目に関する現状分析と評価

### (1)主要評価項目の分析手順

#### 分析手順1

教育ビジョンに掲げられた「個の力を最大化する8つの力」+「集団の力を最大化する8つの力」に対し、評価に用いる資料のそれぞれの力の評価指標となりうる項目を当てはめる。【表1】

【表1】教育ビジョンに掲げられた力と調査項目の関係性

目的 【設立趣旨】		たくましく自立できる人間を育む																					
伸ばしたい力		【教育ビジョン】 個の力を最大限に伸ばす						【教育ビジョン】 集団(の中で必要な)の力を 最大限に伸ばす						ビジョンに 記載がないが 目的達成に 資する力									
		自己を肯定する力	達成を感じる力	集中する力	記憶する力	文字を読む力	計算する力	大きな声を出す力	イメージをする力	多様な意見を聴く力	自分の考えを変える力	伝えあう力	課題を解決する力	思いやる力	がまんする力	リーダー力	調整(仲裁)する力	自立心	責任感	協調性			
行動面調査	児童	質問A	○					○			○							○			○		
		質問B		○	○						○		★	○				○				○	
		質問C		○							○		★	○	★							○	
		質問D	○	★									○										
		質問E	★										★	○									
		質問F		○									★			○							○
		質問G											○										○
		質問H												○			★						○
	教職員	質問A							○			○											○
		質問B	○									★	○					○					○
		質問C		○	○						○		★										○
		質問D								○		★	○	★				○					○
学習面調査	児童	全体		○								○											
		音読		○			★		★														
		図形	★			★		★	★				○										
		視写	○	★			★								○								
		計算	★	★				★															
		英語	○				○		○			○											
	教職員	全体	★		○								○										
		音読		○			★		★														
		図形	★			★		★	★				○										
		視写		○	★		★								○								
		計算	★	★				★															
		英語		○			○		○			○											
教育に関する意識調査	卒業生	問1-①	★																				
		問1-②													★								
		問1-③	★								○		○										
		問1-④	○												○								
		問1-⑤													○								○
		問1-⑥													★								○
		問1-⑦													○								★
		問1-⑧									○	○			○	○		★					★
		問1-⑨	★																				
		問1-⑩	○										○										
		問1-⑪																					
		問1-⑫		○										★		★							★
		問1-⑬							○		○		★				○	★					○
		問1-⑭	★																				
		問1-⑮	★												○		○						○
	問2-①																						
	問2-②																						
	問2-③																						
	問2-④																						
	問2-⑤																						
	問2-⑥																						
	問2-⑦																						
	問3-①									★		○		○									
	問3-②									○				★									
	問3-③									○			○	○		○							
	問3-④									○	★				○								
	問3-⑤											○			○								
	問3-⑥											○			○								
	問3-⑦													○	★								
	問4														○								
問5	★																						

## 分析手順2

予め定めた調査ごとの評価基準【表2】～【表4】及び主要評価項目の評価【表5】に基づき、分析手順1で当てはめた項目ごとの調査結果を5段階で評価点を算出し、「力」ごとに平均評価点【表6】を求めた。

【表2】行動面調査の評価基準

調査結果		評価点
肯定意見の割合	傾向	
85%以上	上昇	5
	横ばい	5
	下降	4
65%以上 ～85%未満	上昇	5
	横ばい	4
	下降	3
45%以上 ～65%未満	上昇	4
	横ばい	3
	下降	2
15%以上 ～45%未満	上昇	3
	横ばい	2
	下降	1
15%未満	上昇	2
	横ばい	1
	下降	1

【表3】学習面調査の評価基準

調査結果		評価点
肯定意見の割合	傾向	
8.5以上	上昇	5
	横ばい	5
	下降	4
6.5以上 ～8.5未満	上昇	5
	横ばい	4
	下降	3
4.5以上 ～6.5未満	上昇	4
	横ばい	3
	下降	2
1.5以上 ～4.5未満	上昇	3
	横ばい	2
	下降	1
1.5未満	上昇	2
	横ばい	1
	下降	1

【表4】教育に関する意識調査の評価基準

		国調査との差分				
		+10%以上	+5%以上 ～10%未満	±5%未満	▲5%以下 ～▲10%未満	▲10%以上
未実施校との差分	+10%以上	5	5	4	3	3
	+5%以上 ～10%未満	5	4	3	3	2
	±5%未満	4	3	3	2	1
	▲5%以下 ～▲10%未満	3	3	2	2	1
	▲10%以上	3	2	1	1	1

【表5】主要評価項目の評価基準

評価点	評価内容
5 ~ 4	多大な効果が認められる
4 ~ 3	効果が認められる
3 ~ 2	効果が認められない
2 ~ 1	まったく効果が認められない

【表6】教育ビジョンに掲げられた「力」ごとの平均評価点の算出

■個の力を最大限伸ばす

	調査対象	調査	設問	関連・高	所見	評価点	平均評価点	
自己を肯定する力	児童	行動面調査	質問 B		肯定意見:54.6%、上昇傾向	4	4.8	
			質問 E		肯定意見:88.9%、横ばい	5		
			質問 F	★	肯定意見:81.5%、横ばい	5		
			質問 H		肯定意見:94.3%、横ばい	5		
	教職員	行動面調査	質問 B		肯定意見:39.6%、横ばい	2	2.0	
	卒業生(20歳)	意識調査	問 1-①	★	未実施校比: +5.6%、国統計比: +3.4%	3	4.1	
			問 1-③	★	未実施校比: +18.2%、国統計比:12.0%	5		
			問 1-④		未実施校比: +17.0%、国統計比: +26.8%	5		
			問 1-⑨	★	未実施校比: +3.6%、国統計比: +15.0%	4		
			問 1-⑩		未実施校比: +11.8%、国統計比:▲13.7%	3		
			問 1-⑭	★	未実施校比: +7.9%、国統計比: +21.9%	5		
			問 1-⑮	★	未実施校比: +17.2%、国統計比:▲1.9%	4		
			問 5		未実施校比: +2.7%、国統計比:21.0%	4		
	達成を感じる力	児童	行動面調査	質問 C		肯定意見:87.2%、横ばい	5	5.0
				質問 E	★	肯定意見:88.9%、横ばい	5	
質問 G					肯定意見:86.7%、上昇傾向	5		
学習面調査			音読		ポイント 7.91、上昇傾向	5		
			図形	★	ポイント 8.57、上昇傾向	5		
			視写		ポイント 8.25、上昇傾向	5		

			計算	★	ポイント 8.30、上昇傾向	5	3.4
			英語		ポイント 8.07、上昇傾向	5	
			思考力	★	ポイント 8.63、横ばい	5	
	教職員	行動面調査	質問 C		肯定意見:73.5%、下降傾向	4	
		学習面調査	音読		ポイント 6.97、横ばい	4	
			図形	★	ポイント 7.11、横ばい	4	
			視写		ポイント 7.03、横ばい	3	
			計算	★	ポイント 8.14、下降傾向	3	
			英語		ポイント 7.21、下降傾向	3	
	思考力		★	ポイント 7.74、下降傾向	3		
卒業生 (20歳)	意識調査	問 1-⑫		未実施校比: +11.3%、国統計比: +28.9%	5	5.0	
集中 する力	児童	行動面調査	質問 C		肯定意見:87.2%、横ばい	5	5.0
		学習面調査	全体	★	ポイント 8.15、上昇傾向	5	
			視写	★	ポイント 8.25、上昇傾向	5	
	計算		★	ポイント 8.30、上昇傾向	5		
	教職員	行動面調査	質問 C		肯定意見:73.5%、下降傾向	3	3.0
		学習面調査	全体	★	ポイント 7.38、下降傾向	3	
			視写	★	ポイント 7.03、下降傾向	3	
			計算	★	ポイント 8.20、下降傾向	3	
	記憶 する力	児童	学習面調査	図形	★	ポイント 8.57、上昇傾向	5
教職員		学習面調査	図形	★	ポイント 7.11、横ばい	4	4.0
文字を 読む力	児童	学習面調査	音読	★	ポイント 7.91、上昇傾向	5	5.0
			視写	★	ポイント 8.25、上昇傾向	5	
			英語		ポイント 8.07、上昇傾向	5	
	教職員	学習面調査	音読	★	ポイント 6.97、横ばい	4	3.3
			視写	★	ポイント 7.03、下降傾向	3	
			英語		ポイント 7.21、下降傾向	3	
計算 する力	児童	学習面調査	図形	★	ポイント 8.57、上昇傾向	5	5.0
			計算	★	ポイント 8.30、上昇傾向	5	

	教職員	学習面 調査	図形	★	ポイント 7.11、横ばい	4	3.5
			計算	★	ポイント 8.14、下降傾向	3	
大きな 声を出す力	児童	行動面 調査	質問 A		肯定意見:79.6%、横ばい	4	4.7
		学習面 調査	音読	★	ポイント 7.91、上昇傾向	5	
			英語		ポイント 8.07、上昇傾向	5	
	教職員	行動面 調査	質問 A		肯定意見 54.0%、横ばい	3	3.3
		学習面 調査	音読	★	ポイント 6.97、横ばい	4	
			英語		ポイント 7.21、下降傾向	3	
卒業生 (20歳)	意識 調査	問 1-⑬		未実施校比: +2.9%、国統計比: +4.2%	3	3.0	
イメージ する力	児童	行動面 調査	質問 B		肯定意見 54.6%、上昇傾向	4	4.7
		学習面 調査	図形	★	ポイント 8.57、上昇傾向	5	
			思考力	★	ポイント 8.63、横ばい	5	
	教職員	行動面 調査	質問 B		肯定意見 39.6%、横ばい	2	3.0
		学習面 調査	図形	★	ポイント 7.11、横ばい	4	
			思考力	★	ポイント 7.64、下降傾向	3	

■集団(の中で必要な)力を最大限に伸ばす

多様な 意見を 聴く力	児童	行動面 調査	質問 D		肯定意見:86.6%、上昇傾向	5	5.0
	教職員	行動面 調査	質問 D		肯定意見:88.4%、横ばい	5	5.0
	卒業生 (20歳)	意識 調査	問 1-⑧		未実施校比: +17.5%、国統計比: ▲0.3%	4	3.8
			問 1-⑬		未実施校比: +2.9%、国統計比: +4.2%	3	
			問 3-①	★	未実施校比: +12.1%、国統計比: +22.2%	5	
			問 3-②		未実施校比: +2.7%、国統計比: +11.4%	4	
			問 3-③		未実施校比: ▲1.3%、国統計比: +8.7%	3	
			問 3-④		未実施校比: +5.0%、国統計比: +10.9%	4	

自分の考えを 変える 力	児童	行動面 調査	質問 C		肯定意見:87.2%、横ばい	5	5.0
		学習面 調査	思考力		ポイント 8.63、横ばい	5	
	教職員	行動面 調査	質問 C		肯定意見 73.5%、下降傾向	3	3.0
		学習面 調査	思考力		ポイント 7.64、下降傾向	3	
	卒業生 (20歳)	意識 調査	問 1-③		未実施校比: +18.2%、国統計比: +12.0%	5	4.3
			問 1-⑧		未実施校比: +17.5%、国統計比: ▲0.3%	4	
問 3-④			★	未実施校比: +5.0%、国統計比: +10.9%	4		
伝えあう 力	児童	行動面 調査	質問 A		肯定意見:79.6%、横ばい	4	4.5
			質問 B	★	肯定意見:54.6%、上昇傾向	4	
			質問 D	★	肯定意見:86.6%、上昇傾向	5	
		学習面 調査	英語		ポイント 8.07%、上昇傾向	5	
	教職員	行動面 調査	質問 A		肯定意見:54.0%、横ばい	3	3.3
			質問 B	★	肯定意見:39.6%、横ばい	2	
			質問 D	★	肯定意見:88.4%、横ばい	5	
		学習面 調査	英語		ポイント 7.21、下降傾向	3	
	卒業生 (20歳)	意識 調査	問 1-⑩		未実施校比: +11.8%、国統計比: ▲13.7%	3	3.4
			問 1-⑬	★	未実施校比: +2.9%、国統計比: +4.2%	3	
			問 3-①		未実施校比: +12.1%、国統計比: +22.2%	5	
			問 3-⑤		未実施校比: +24.4%、国統計比: +28.8%	5	
			問 3-⑥		未実施校比: ▲6.4%、国統計比: ▲12.2%	1	
課題を 解決 する力	児童	行動面 調査	質問 B		肯定意見:54.6%、上昇傾向	4	4.9
			質問 C	★	肯定意見:87.2%、横ばい	5	
			質問 D		肯定意見:86.6%、上昇傾向	5	
			質問 E		肯定意見:88.9%、横ばい	5	

			質問 G	★	肯定意見:86.7%、上昇傾向	5		
			質問 H		肯定意見:94.3%、横ばい	5		
			学習面 調査	全体		ポイント 8.15、上昇傾向		5
				図形		ポイント 8.57、上昇傾向		5
				思考力	★	ポイント 8.63、横ばい		5
	教職員	行動面 調査	質問 B		肯定意見:39.6%、横ばい	2		
			質問 C	★	肯定意見 73.5%、下降傾向	3		
			質問 D		肯定意見:88.4%、横ばい	5		
		学習面 調査	全体		ポイント 7.38、下降傾向	3		
			図形		ポイント 7.11、横ばい	4		
			思考力	★	ポイント 7.64、下降傾向	3		
	卒業生 (20歳)	意識 調査	問 1-③		未実施校比: +18.2%、国統計比: +12.0%	5		
			問 1-⑤		未実施校比: +10.7%、国統計比: +29.2%	5		
			問 1-⑥	★	未実施校比: +1.2%、国統計比: ▲11.8%	1		
			問 1-⑦		未実施校比: +8.8%、国統計比: +12.7%	5		
問 1-⑫			★	未実施校比: +11.3%、国統計比: +28.9%	5			
問 1-⑮				未実施校比: +17.2%、国統計比: ▲1.9%	4			
問 3-③				未実施校比: ▲1.3%、国統計比: +8.7%	3			
問 4				未実施校比: +3.4%、国統計比: +12.9%	4			
思いやる 力	児童	行動面 調査	質問 D	★	肯定意見:86.6%、上昇傾向	5	5.0	
	教職員	行動面 調査	質問 D	★	肯定意見:88.4%、横ばい	5	5.0	
	卒業生 (20歳)	意識 調査	問 1-⑧		未実施校比: +17.5%、国統計比: ▲0.3%	4	3.8	
			問 3-①		未実施校比: +12.1%、国統計比: +22.2%	5		
			問 3-②	★	未実施校比: +2.7%、国統計比: +11.4%	4		
			問 3-③		未実施校比: ▲1.3%、国統計比: +8.7%	3		
			問 3-⑦		未実施校比: +5.9%、国統計比: ▲6.5%	3		

がまん する力	児童	行動面 調査	質問 G		肯定意見:86.7%、上昇傾向	5	5.0
		学習面 調査	視写		ポイント 8.25、上昇傾向	5	
	教職員	学習面 調査	視写		ポイント 7.03、下降傾向	3	3.0
	卒業生 (20歳)	意識 調査	問 1-②	★	未実施校比: +5.2%、国統計比: ▲2.1%	3	3.8
			問 1-④		未実施校比: +17.0%、国統計比: +26.8%	5	
			問 1-⑤		未実施校比: +10.7%、国統計比: +29.2%	5	
			問 1-⑧		未実施校比: +17.5%、国統計比: ▲0.3%	4	
			問 1-⑫	★	未実施校比: +11.3%、国統計比: +28.9%	5	
			問 3-③		未実施校比: ▲1.3%、国統計比: +8.7%	3	
			問 3-④		未実施校比: +5.0%、国統計比: +10.9%	4	
問 3-⑤				未実施校比: +24.4%、国統計比: +28.8%	5		
問 3-⑥		未実施校比: ▲6.4%、国統計比: ▲12.2%	1				
問 3-⑦	★	未実施校比: +5.9%、国統計比: ▲6.5%	3				
リーダー 力	児童	行動面 調査	質問 H	★	肯定意見:94.3%、横ばい	5	5.0
	卒業生 (20歳)	意識 調査	問 1-⑬		未実施校比: +2.9%、国統計比: +4.2%	3	3.5
			問 1-⑮		未実施校比: +17.2%、国統計比: ▲1.9%	4	
調整 (仲裁) する力	児童	行動面 調査	質問 B		肯定意見:54.6%、上昇傾向	4	4.5
			質問 D		肯定意見:86.6%、上昇傾向	5	
	教職員	行動面 調査	質問 B		肯定意見:39.6%、横ばい	2	3.5
			質問 D		肯定意見:88.4%、横ばい	5	
	卒業生 (20歳)	意識 調査	問 1-⑧	★	未実施校比: +17.5%、国統計比: ▲0.3%	4	3.5
			問 1-⑬	★	未実施校比: +2.9%、国統計比: +4.2%	3	
			問 3-③		未実施校比: ▲1.3%、国統計比: +8.7%	3	
			問 4		未実施校比: +2.7%、国統計比: +12.9%	4	

■教育ビジョンには記載がないが目的達成に資する力(参考)

自立心	児童	行動面 調査	質問 B		肯定意見:54.6%、上昇傾向	4	4.5
			質問 C		肯定意見:87.2%、横ばい	5	
	教職員	行動面 調査	質問 B		肯定意見:39.6%、横ばい	2	2.5
			質問 C		肯定意見:73.5%、下降傾向	3	
	卒業生 (20歳)	意識 調査	問 1-⑤		未実施校比: +10.7%、国統計比: +29.2%	5	3.7
			問 1-⑥		未実施校比: +1.2%、国統計比: ▲11.8%	1	
問 1-⑦			★	未実施校比: +8.8%、国統計比: +12.7%	5		
責任感	児童	行動面 調査	質問 G		肯定意見:86.7%、上昇傾向	5	5.0
			質問 H		肯定意見:94.3%、横ばい	5	
	卒業生 (20歳)	意識 調査	問 1-⑦	★	未実施校比: +8.8%、国統計比: +12.7%	5	4.2
			問 1-⑧	★	未実施校比: +17.5%、国統計比: ▲0.3%	4	
			問 1-⑫	★	未実施校比: +11.3%、国統計比: +28.9%	5	
			問 3-③		未実施校比: ▲1.3%、国統計比: +8.7%	3	
		問 4		未実施校比: +3.4%、国統計比: +12.9%	4		
協調性	児童	行動面 調査	質問 A		肯定意見:79.60%、横ばい	4	4.5
			質問 D		肯定意見:86.6%、上昇傾向	5	
	教職員	行動面 調査	質問 A		肯定意見:54.0%、横ばい	3	4.0
			質問 D		肯定意見:88.4%、横ばい	5	
	卒業生 (20歳)	意識 調査	問 1-⑧	★	未実施校比: +17.5%、国統計比: ▲0.3%	4	4.3
			問 1-⑬		未実施校比: +2.9%、国統計比: +4.2%	3	
			問 1-⑮		未実施校比: +17.2%、国統計比: ▲1.9%	4	
			問 2-④		未実施校比: +12.7%、国統計比: +29.8%	5	
			問 2-⑤		未実施校比: +18.9%、国統計比: +36.9%	5	
			問 2-⑥		未実施校比: +20.3%、国統計比: +35.1%	5	
			問 2-⑦		未実施校比: +11.3%	4	
			問 3-①		未実施校比: +12.1%、国統計比: +22.2%	5	
			問 3-②		未実施校比: +2.7%、国統計比: +11.4%	4	
			問 3-④		未実施校比: +5.0%、国統計比: +10.9%	4	
			問 3-⑤		未実施校比: +24.4%、国統計比: +28.8%	5	
問 3-⑦		未実施校比: +5.9%、国統計比: ▲6.5%	3				

分析手順3

「力」ごとの平均評価の平均を求め、評価項目(中)の平均評価点を算出し、2つの評価項目(中)の平均を求め主要評価項目の評価点【表7】を求めた。

【表7】評価項目(中)の平均評価点及び主要評価項目の評価点の算出

評価項目	児童	教職員	卒業生
たくましく自立できる人間を育む	<b>4.88</b>	<b>3.46</b>	<b>3.90</b>
ア. 個の力を最大限伸ばす	<b>4.90</b>	<b>3.19</b>	<b>4.03</b>
①自己を肯定する力	4.8	2.0	4.1
②達成を感じる力	5.0	3.4	5.0
③集中する力	5.0	3.0	—
④記憶する力	5.0	4.0	—
⑤文字を読む力	5.0	3.3	—
⑥計算する力	5.0	3.5	—
⑦大きな声を出す力	4.7	3.3	3.0
⑧イメージをする力	4.7	3.0	—
イ. 集団(の中で必要な)力を最大限に伸ばす	<b>4.86</b>	<b>3.73</b>	<b>3.76</b>
①多様な意見を聴く力	5.0	5.0	3.8
②自分の考えを変える力	5.0	3.0	4.3
③伝えあう力	4.5	3.3	3.4
④課題を解決する力	4.9	3.3	4.0
⑤思いやる力	5.0	5.0	3.8
⑥がまんする力	5.0	3.0	3.8
⑦リーダー力	5.0	—	3.5
⑧調整(仲裁)する力	4.5	3.5	3.5

## (2)主要評価項目の現状分析のポイント

分析手順3により求めた児童、教職員及び卒業生(参考)の評価点及び評価は以下のとおり。

	評価点	評価
児童	4. 88	多大な効果が認められる
教職員	3. 46	効果が認められる
卒業生(参考)	3. 90	効果が認められる

- ・官民一体型学校の取組による「たくましく自立できる大人を育む」の実現については、児童自身による評価としては「多大な効果が認められている」。
- ・一方で、教職員の評価は「効果が認められる」に達しているものの、児童の評価と 1.46 ポイントの大きな乖離があり、児童自身ほど教職員は本事業による児童の成長を実感できていないと思われる。
- ・卒業生の評価についても、単年度の調査でサンプル数も十分でないが、事業の効果が認められるものの、児童の評価と 0.98 ポイントの差があり、児童が感じているほどの効果は、卒業後＝大人になったあとに出現できていないことが読み取れる。

## (3)主要評価項目に関する評価

- 「たくましく自立できる大人を育む」という事業目的への効果は認められるが、改善の余地がある。
- 現状の方法を継続する形での事業継続は、教職員の理解を得ることは難しく、結果として事業効果の向上につながらない。
- 令和 7 年度以降は、代替手段の検討も行いつつ、引き続き事業を継続する場合は、各メソッドの意義や目的を再確認するとともに、学校や教職員の意見を踏まえながら改善することで、更に事業効果が高まることが期待される。
- 卒業生による事業評価についても、アウトカムの評価として有効であるため、今後も引き続き事業評価の指標として調査を実施することが望ましい。

## 6. 副次的評価項目に関する現状分析と評価

### (1)「地域連携の効果と課題」に関する現状分析のポイント

#### ア. 学校と地域の連携の効果と課題について

- ・運営面調査-問 3 より、教職員と地域＋公民館ともに、約 80%が肯定的回答であるが、肯定的回答が 90%を超える町が4つある一方、50%に満たない町もあり、町ごとに効果の偏在が大きい。

#### イ. 児童と地域の連携の効果と課題について

- ・運営面調査-問 4 より、教職員と地域＋公民館ともに、80%以上が肯定的回答であるが、肯定的回答が 100%の町が4つある一方、60%程度に留まる町が2つあるなど、学校と地域との連駅と同様に町ごとに効果の偏在が大きい。

#### ウ. 卒業生と地域の関係について

- ・教育に関する意識調査問 2-③⑤⑦より、未実施校や国の統計と比して、肯定的な回答が 10 ポイント以上高く、卒業後も学校や地域に対し愛着をもっていることが読み取れる。

#### エ. 支援員に関する効果と課題について

- ・運営面調査-問 6 より、地域＋公民館で 80%以上が肯定的回答であることから、花まるタイムへの参加が支援員自身とっても「やりがい」や「楽しみ」になっているが、肯定的回答が 90 を超える町が3つある一方で、30%程度に留まる町もあり、他の項目同様に町ごとに効果の偏在が大きい。
- ・運営面調査-問 8、問 9、問 10 より、支援を行うにあたり、学校との調整に負担を感じている回答が 50%程度、支援員の確保に負担を感じている回答が 70%程度と高く、現状の方法での事業実施については、地域や支援員の多大な協力の上に成り立っていることが読み取れる。

### (2)「学校における他の教育活動とのバランス」に関する現状分析のポイント

#### ア. 学校・教職員の負担について

- ・学校は、本事業が地域との関係性の構築に効果があると感じている一方、運営面調査-問 5 より、教職員の負担の軽減という視点においては、肯定的な意見が 45%程度に留まっている。
- ・運営面調査-問 7、問 8 より、花まるタイムの教材の準備の負担を感じる教職員が 50%程度、支援員を受け入れるための地域との調整に負担を感じる教職員が 40%程度ある。

#### イ. 取組の回数等について

- ・運営面調査-問 17 の自由記述にもあるように、学校に求められる役割や対応すべき事項が増大する中で、花まるタイムの実施により学級活動や行事などを中心に学校運営の弾力性が低下している。
- ・運営面調査-問 11 により、花まるタイムの実施は、引き続き朝の時間とする回答が教職員の 90%以上を占めるが、実施回数を週 1～2 回とする回答が、90%程度あり、うち支援員による支援も週 1～2 回とする回答も学校、地域＋公民館ともに 90%であり、学校における朝の時間の活用の幅が求められていることが読み取れる。

### (3)副次的評価項目に関する評価

- 本事業を通じた、児童と地域、学校の関係性の構築については、おおむね効果が認められるが、町ごとに効果の偏在が大きく、支援員個人を見ても、負担を感じながらも自身にとっても有益な場合と、負担も感じながら効果も実感できない場合が幅広く混在しており、一律に評価を行うことは困難。
- 児童や学校と地域の関係構築には、本事業以外の事業が実施されているため、令和 7 年度以降に事業を継続する場合は、コミュニティスクールという全体枠組みにおいて、他の連携事業の実施状況も踏まえながら、支援の実施の要否も含め、各学校と各町の実状にあった実施方法を決定することが望ましい。
- 本事業の画一的な学校現場への導入により、学校運営の弾力性が損なわれている可能性がある。特色ある学校づくりという視点からみても、全校一律の導入ではなく、事業の実施の要否や、その頻度や対象学年の範囲などを学校が主体的に決定することで、教職員の事業への納得感が高まり、負担感の解消につながることを期待される。

## 7. 総評・提言

- ・公立学校という「官」のシステムに花まる学習会がもつ「民」のノウハウや活力を融合させた官民一体型学校の取組は、「たくましく自立できる人間を育む」という当初の目的達成に一定の成果が認められるが、取組み開始以降9年間を経過し、学校へのICTの急速な導入、特別支援・不登校等の増加、新型コロナウイルスへの対応、団塊の世代の退職に伴う学校組織の急激な若返り、教職員の働き方改革など、児童や学校を取り巻く環境や課題が大きく変化したことにより、事業の在り方の見直しが求められている。
- ・令和7年度以降の官民一体型学校の実施にあたっては、学校運営方針や取り巻く課題・環境を踏まえた学校の意見を尊重したうえで、学校と地域で構成する各地域学校協働本部が主体的に、取組実施の可否や実施メニュー（花まるタイム、なぞペー、青空教室）やその実施方法（頻度や対象学年）及び地域支援の可否について決定し、市教育委員会はその支援を行うこと。
- ・各学校における取組の判断材料となるよう、市教育委員会は教育講演会や各種研修を通じ、改めて「設立主旨や教育ビジョン」や各メソッドの理解啓発に努めること。
- ・地域における花まるタイムの支援については、コミュニティスクールの実現の手法一つであることから、必ずしも実施しなければならないものではないが、学校のから要請があった場合は、引き続き支援をお願いしたい。なお、花まるタイムへの支援を必要としない学校・地域においても、コミュニティスクールの実現のため、他の形での連携は不可欠である。
- ・事業の継続にあたっては、引き続き、児童や教職員、卒業生を対象とした効果測定を継続し、その結果を踏まえ、おおむね3年を目途に、改めて事業の検証を行うこと。



## 平成 27 年度 官民一体型学校『武雄花まる学園』

## 設立主旨と教育ビジョン

## 1. 官民一体型学校 設立主旨

人々の価値観が多様化し、グローバル化が加速するこれからの社会を生き抜いていくためには、今まで以上に、自分で思考し、意見を伝え、また、考えの異なる他者とも力を合わせて、未来を切り拓いていかなければならない。こうした変化の中にあって、教育においても、教師が一斉に教えるという知識重視の伝統的な学習スタイルから、多様性を認め合い、お互いに学び教え合う学習スタイルへの転換が、今こそ求められている。

そこで、公立学校という「官」のシステムに「民」のノウハウや活力を融合させ、官と民の強みを活かした新たな学校を創設する。

武雄市は、最高の教育環境を子どもたちに提供し、たくましく自立できる人間を育てていく。

## 2. 官民一体型学校 教育ビジョン

楽しく学ぶ。みんなで学ぶ。

～最適な教育環境を提供し、個の力と集団の力を最大化する～



### 3. 教育ビジョンが示す、3つの方向性

#### (1) 「個」の力の最大化

花まる学習会の主要なカリキュラムを、毎朝 15 分程度のモジュール授業に「花まるタイム」として導入することにより、個の力の最大化を図っていく。特に、「花まるタイム」で行われる、「できた喜びを体現する」、「昨日の自分に負けない」、「待つと言われても待たない」といった指導方法は、従来の公教育における教科学習ではあまり実践されなかったものであり、こうした指導方法を「花まるタイム」にとどまらず、日々の学習にも活用していくことで、今以上に、個に寄り添い、個々の力を最大限に伸ばしていく。

◇「個」の力を最大化するために、育みたい8つの力

- |           |                              |
|-----------|------------------------------|
| ①自己を肯定する力 | (他人でなく過去の自分に負けない意識を醸成する指導法)  |
| ②達成を感じる力  | (できた喜びを体現させ、徹底的にほめる指導法)      |
| ③集中する力    | (集中力を育むカリキュラム／計算、視写)         |
| ④記憶する力    | (記憶力を育成するカリキュラム／パターンM、キューブK) |
| ⑤文字を読む力   | (読む力を育成するカリキュラム／四字熟語、古典音読)   |
| ⑥計算する力    | (計算力を育成するカリキュラム／サボテン)        |
| ⑦大きな声を出す力 | (大きな声で音読する、できた喜びを声に出す指導法)    |
| ⑧イメージする力  | (イメージ力を育成するカリキュラム／なぞペー教材など)  |

#### (2) 「集団」の力の最大化

集団の力の最大化とは、多様な個が、協力、協働することでコラボレーションし、付加価値を創出することを意味する。

「花まるタイム」では、3～4名を単位としたグループ学習として行い、お互いに学び合い、教え合う学習スタイルの基礎を育む。また、花まる学習会の野外体験カリキュラムを、月一回（2コマ）の「青空教室」として導入し、1年生から6年生までが同じ縦割り班になり、課題解決に取り組むことで、集団としての力を育てていく。

◇「集団」の力を最大化するために、育みたい8つの力

- |            |             |
|------------|-------------|
| ①多様な意見を聴く力 | ②自分の考えを変える力 |
| ③伝えあう力     | ④課題を解決する力   |
| ⑤思いやる力     | ⑥がまんする力     |
| ⑦リーダー力     | ⑧調整（仲裁）する力  |

#### (3) 教育「環境」の最適化

個の力と集団の力の最大化するために、最適な教育環境を整えていく。

◇最適な教育を提供するための、5つの環境

- |              |                           |
|--------------|---------------------------|
| ①豊かな自然の中での学び | (自然体験、青空教室)               |
| ②最先端のICTの活用  | (教室でのIWB完備、ひとり一台のタブレット端末) |
| ③異学年での学び     | (青空教室、縦割り班活動)             |
| ④地域住民との学校づくり | (学校支援地域本部の設立)             |
| ⑤家庭との連携      | (スマイル学習、週末課題、保護者講話等の開催)   |

**【資料2】**  
**官民一体型学校「武雄花まる学園」**  
**行動面・学習面に関するアンケート**  
**(児童・教職員)**  
**調査結果 経年比較**

**令和6年1月**

**武雄市教育委員会**  
**新しい学校づくり課**

<調査概要>

○実施方法

児童及び教職員を対象に年度ごとに実施しているアンケート調査結果について経年比較を行った。

児童は自分自身について、教職員は担任クラスについての回答。学習面については、項目ごとに10点換算の加重平均により数値化したもので比較を行った。

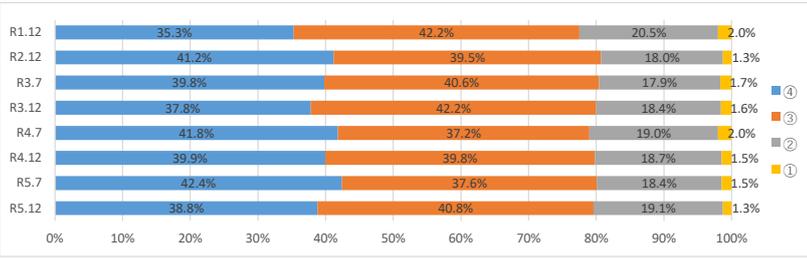
【行動面】児童

質問A、人と人とのつながり、れいぎ（ちいきの人とのかかわり）

- ④ 自分から元気にあいさつができる
- ③ 自分からあいさつができる
- ② 相手からあいさつされたらできる
- ① 相手からあいさつをされてもあいさつができない

期間内の肯定意見割合の平均	79.6%
経年変化の傾向	横ばい

	④	③	②	①
R1.12	35.3%	42.2%	20.5%	2.0%
R2.12	41.2%	39.5%	18.0%	1.3%
R3.7	39.8%	40.6%	17.9%	1.7%
R3.12	37.8%	42.2%	18.4%	1.6%
R4.7	41.8%	37.2%	19.0%	2.0%
R4.12	39.9%	39.8%	18.7%	1.5%
R5.7	42.4%	37.6%	18.4%	1.5%
R5.12	38.8%	40.8%	19.1%	1.3%

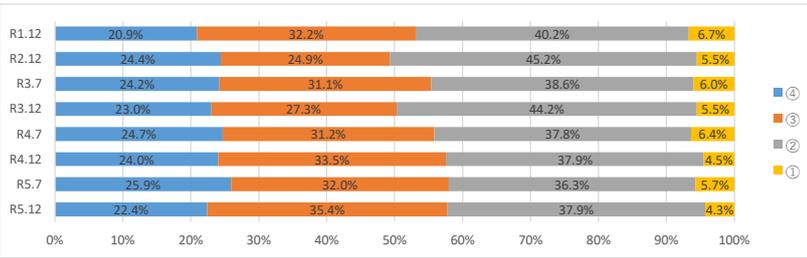


質問B、伝える力（声・意思）

- ④ 思っていることを全部はっきり伝えることができる
- ③ 思っていることを全部伝えることができる
- ② 思っていることを少しだけ伝えることができる
- ① 思っていることを伝えることができない

期間内の肯定意見割合の平均	54.6%
経年変化の傾向	上昇傾向

	④	③	②	①
R1.12	20.9%	32.2%	40.2%	6.7%
R2.12	24.4%	24.9%	45.2%	5.5%
R3.7	24.2%	31.1%	38.6%	6.0%
R3.12	23.0%	27.3%	44.2%	5.5%
R4.7	24.7%	31.2%	37.8%	6.4%
R4.12	24.0%	33.5%	37.9%	4.5%
R5.7	25.9%	32.0%	36.3%	5.7%
R5.12	22.4%	35.4%	37.9%	4.3%

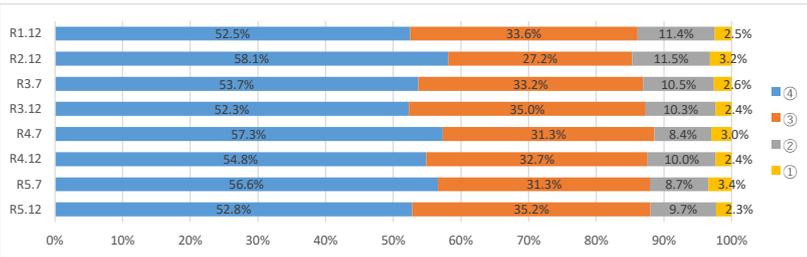


質問C、行動力（自分の頭で考え行動する）

- ④ かたづけが時間内に、でき、次のじゅんびができる
- ③ かたづけが時間内にでき、少しだけ次のじゅんびができる
- ② かたづけが時間内にできる
- ① かたづけが時間内にできない

期間内の肯定意見割合の平均	87.2%
経年変化の傾向	横ばい

	④	③	②	①
R1.12	52.5%	33.6%	11.4%	2.5%
R2.12	58.1%	27.2%	11.5%	3.2%
R3.7	53.7%	33.2%	10.5%	2.6%
R3.12	52.3%	35.0%	10.3%	2.4%
R4.7	57.3%	31.3%	8.4%	3.0%
R4.12	54.8%	32.7%	10.0%	2.4%
R5.7	56.6%	31.3%	8.7%	3.4%
R5.12	52.8%	35.2%	9.7%	2.3%

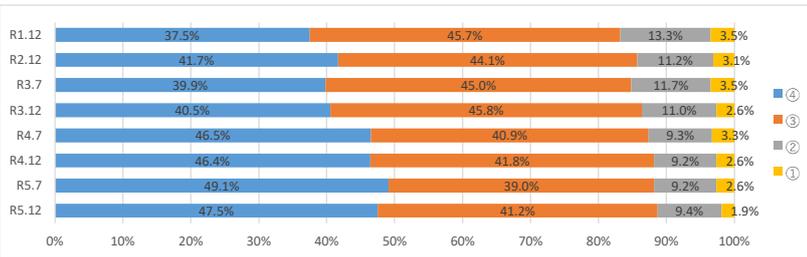


質問D、思いやり（自分以外の人を思いやることのできる気持ち）

- ④ こまっている友だちがいたら声をかけて、いっしょにかいけつてみようと思う
- ③ こまっている友だちがいたら声をかけようと思う
- ② こまっている友だちに呼びかけられたら、声をかけようと思う
- ① こまっている友だちがいても声をかけることができない

期間内の肯定意見割合の平均	86.6%
経年変化の傾向	上昇傾向

	④	③	②	①
R1.12	37.5%	45.7%	13.3%	3.5%
R2.12	41.7%	44.1%	11.2%	3.1%
R3.7	39.9%	45.0%	11.7%	3.5%
R3.12	40.5%	45.8%	11.0%	2.6%
R4.7	46.5%	40.9%	9.3%	3.3%
R4.12	46.4%	41.8%	9.2%	2.6%
R5.7	49.1%	39.0%	9.2%	2.6%
R5.12	47.5%	41.2%	9.4%	1.9%

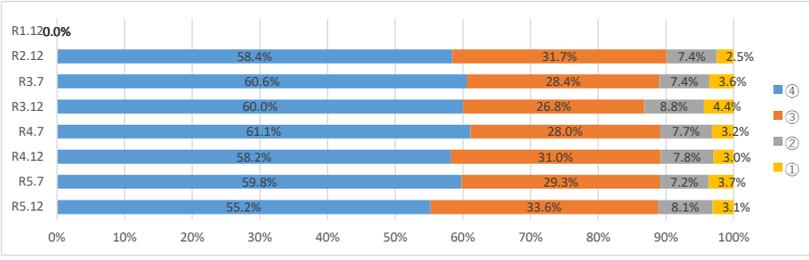


質問E, 達成感 (できた喜び)

- ④ 問題がとけたらとてもうれしい またがんばろうと思える
- ③ 問題がとけたらうれしい
- ② 問題がとけたら少しだけうれしい
- ① 問題がとけてもうれしくない

期間内の肯定意見割合の平均	88.9%
経年変化の傾向	横ばい

	④	③	②	①
R1.12				
R2.12	58.4%	31.7%	7.4%	2.5%
R3.7	60.6%	28.4%	7.4%	3.6%
R3.12	60.0%	26.8%	8.8%	4.4%
R4.7	61.1%	28.0%	7.7%	3.2%
R4.12	58.2%	31.0%	7.8%	3.0%
R5.7	59.8%	29.3%	7.2%	3.7%
R5.12	55.2%	33.6%	8.1%	3.1%

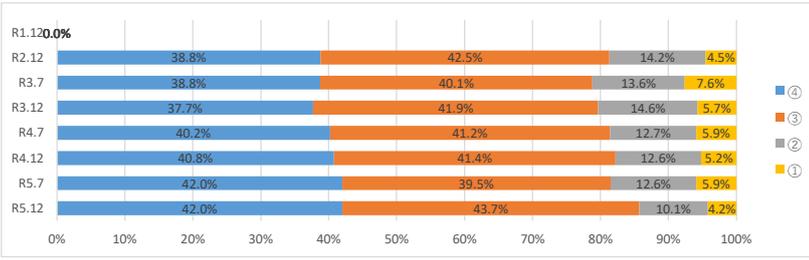


質問F, 自分には、良いところがあると思う

- ④ 当てはまる
- ③ まあまあ当てはまる
- ② あまり当てはまらない
- ① 当てはまらない

期間内の肯定意見割合の平均	81.5%
経年変化の傾向	上昇

	④	③	②	①
R1.12				
R2.12	38.8%	42.5%	14.2%	4.5%
R3.7	38.8%	40.1%	13.6%	7.6%
R3.12	37.7%	41.9%	14.6%	5.7%
R4.7	40.2%	41.2%	12.7%	5.9%
R4.12	40.8%	41.4%	12.6%	5.2%
R5.7	42.0%	39.5%	12.6%	5.9%
R5.12	42.0%	43.7%	10.1%	4.2%

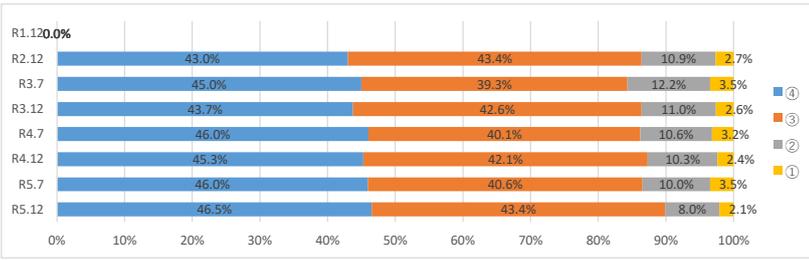


質問G, むずかしいことでも、失敗をおそれないでちよう戦っている

- ④ 当てはまる
- ③ まあまあ当てはまる
- ② あまり当てはまらない
- ① 当てはまらない

期間内の肯定意見割合の平均	86.7%
経年変化の傾向	上昇

	④	③	②	①
R1.12				
R2.12	43.0%	43.4%	10.9%	2.7%
R3.7	45.0%	39.3%	12.2%	3.5%
R3.12	43.7%	42.6%	11.0%	2.6%
R4.7	46.0%	40.1%	10.6%	3.2%
R4.12	45.3%	42.1%	10.3%	2.4%
R5.7	46.0%	40.6%	10.0%	3.5%
R5.12	46.5%	43.4%	8.0%	2.1%

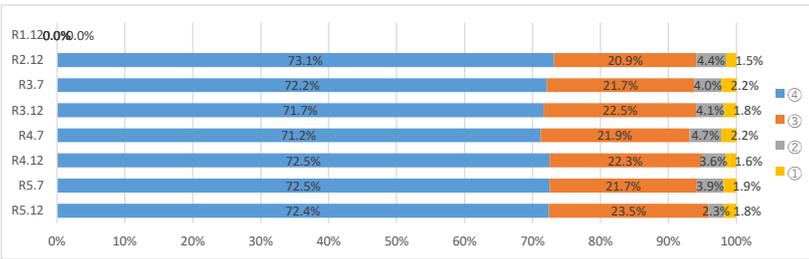


質問H, 人の役に立つ人間になりたいと思う

- ④ 当てはまる
- ③ まあまあ当てはまる
- ② あまり当てはまらない
- ① 当てはまらない

期間内の肯定意見割合の平均	94.3%
経年変化の傾向	横ばい

	④	③	②	①
R1.12				
R2.12	73.1%	20.9%	4.4%	1.5%
R3.7	72.2%	21.7%	4.0%	2.2%
R3.12	71.7%	22.5%	4.1%	1.8%
R4.7	71.2%	21.9%	4.7%	2.2%
R4.12	72.5%	22.3%	3.6%	1.6%
R5.7	72.5%	21.7%	3.9%	1.9%
R5.12	72.4%	23.5%	2.3%	1.8%



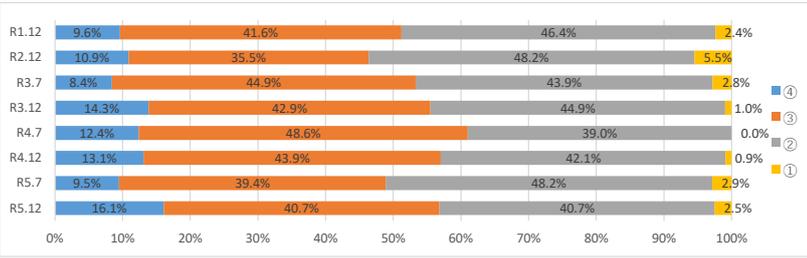
【行動面】教職員

質問A、人ととのつながり、れいぎ（ちいきの人とのかかわり）

- ④ 自分から元気にあいさつができる
- ③ 自分からあいさつができる
- ② 相手からあいさつされたらできる
- ① 相手からあいさつをされてもあいさつができない

期間内の肯定意見割合の平均	54.0%
経年変化の傾向	横ばい

	④	③	②	①
R1.12	9.6%	41.6%	46.4%	2.4%
R2.12	10.9%	35.5%	48.2%	5.5%
R3.7	8.4%	44.9%	43.9%	2.8%
R3.12	14.3%	42.9%	44.9%	1.0%
R4.7	12.4%	48.6%	39.0%	0.0%
R4.12	13.1%	43.9%	42.1%	0.9%
R5.7	9.5%	39.4%	48.2%	2.9%
R5.12	16.1%	40.7%	40.7%	2.5%

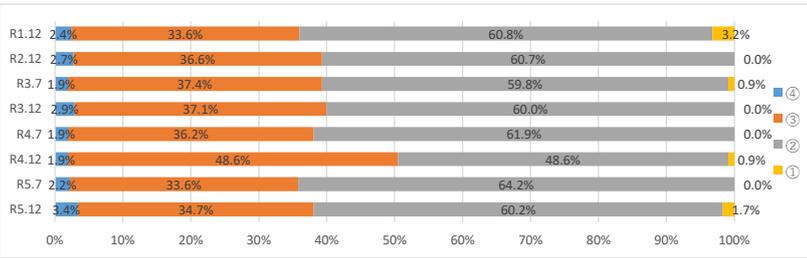


質問B、伝える力（声・意思）

- ④ 思っていることを全部はっきり伝えることができる
- ③ 思っていることを全部伝えることができる
- ② 思っていることを少しだけ伝えることができる
- ① 思っていることを伝えることができない

期間内の肯定意見割合の平均	39.6%
経年変化の傾向	横ばい

	④	③	②	①
R1.12	2.4%	33.6%	60.8%	3.2%
R2.12	2.7%	36.6%	60.7%	0.0%
R3.7	1.9%	37.4%	59.8%	0.9%
R3.12	2.9%	37.1%	60.0%	0.0%
R4.7	1.9%	36.2%	61.9%	0.0%
R4.12	1.9%	48.6%	48.6%	0.9%
R5.7	2.2%	33.6%	64.2%	0.0%
R5.12	3.4%	34.7%	60.2%	1.7%

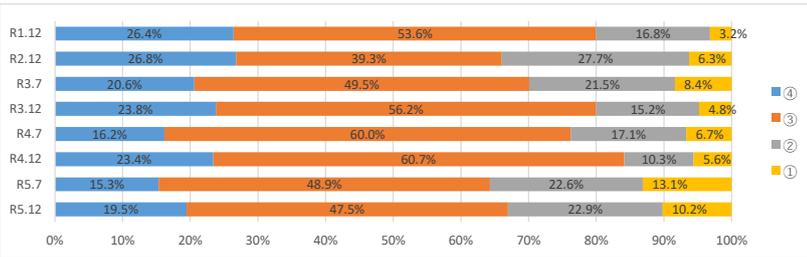


質問C、行動力（自分の頭で考え行動する）

- ④ かたづけが時間内に、でき、次のじゅんびができる
- ③ かたづけが時間内にでき、少しだけ次のじゅんびができる
- ② かたづけが時間内にできる
- ① かたづけが時間内にできない

期間内の肯定意見割合の平均	73.5%
経年変化の傾向	下降傾向

	④	③	②	①
R1.12	26.4%	53.6%	16.8%	3.2%
R2.12	26.8%	39.3%	27.7%	6.3%
R3.7	20.6%	49.5%	21.5%	8.4%
R3.12	23.8%	56.2%	15.2%	4.8%
R4.7	16.2%	60.0%	17.1%	6.7%
R4.12	23.4%	60.7%	10.3%	5.6%
R5.7	15.3%	48.9%	22.6%	13.1%
R5.12	19.5%	47.5%	22.9%	10.2%

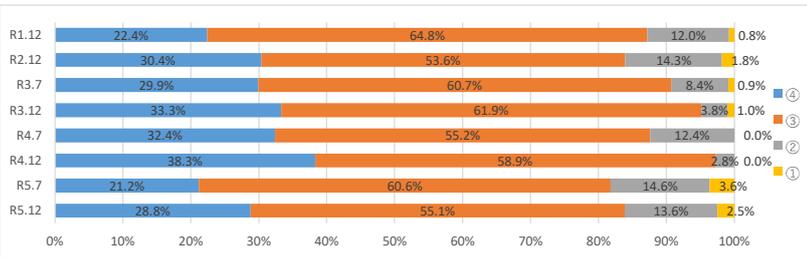


質問D、思いやり（自分以外の人を思いやることのできる気持ち）

- ④ こまっている友だちがいたら声をかけて、いっしょにかいけつてみようと思う
- ③ こまっている友だちがいたら声をかけようと思う
- ② こまっている友だちに呼びかけられたら、声をかけようと思う
- ① こまっている友だちがいても声をかけることができない

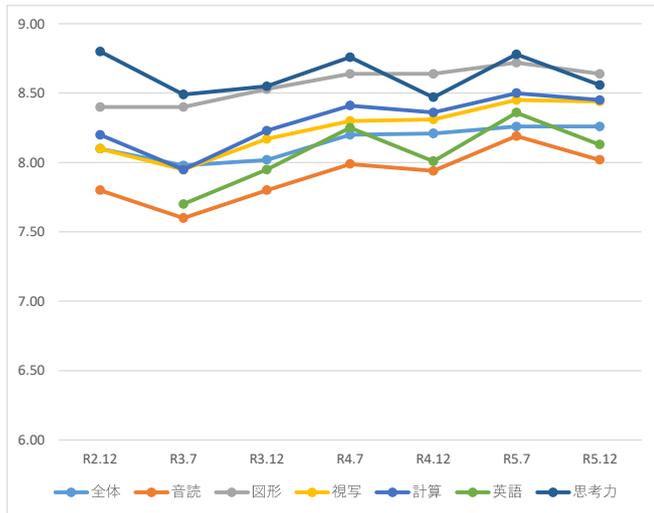
期間内の肯定意見割合の平均	88.4%
経年変化の傾向	横ばい

	④	③	②	①
R1.12	22.4%	64.8%	12.0%	0.8%
R2.12	30.4%	53.6%	14.3%	1.8%
R3.7	29.9%	60.7%	8.4%	0.9%
R3.12	33.3%	61.9%	3.8%	1.0%
R4.7	32.4%	55.2%	12.4%	0.0%
R4.12	38.3%	58.9%	2.8%	0.0%
R5.7	21.2%	60.6%	14.6%	3.6%
R5.12	28.8%	55.1%	13.6%	2.5%



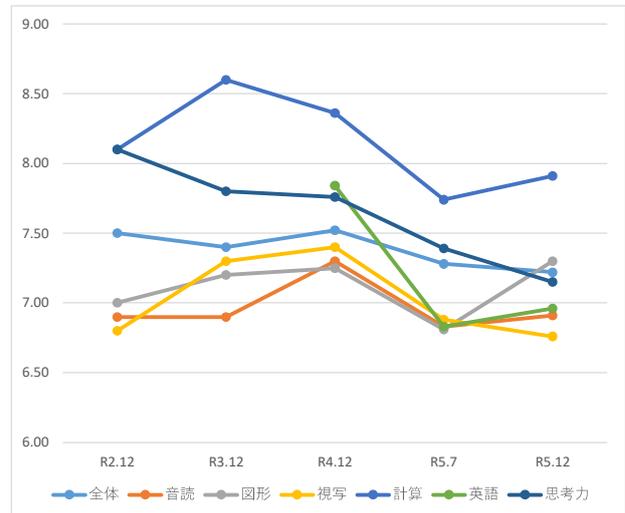
【学習面】児童（4年～6年）

	R2.12	R3.7	R3.12	R4.7	R4.12	R5.7	R5.12	期間平均	傾向
全体	8.10	7.98	8.02	8.20	8.21	8.26	8.26	8.15	上昇傾向
音読	7.80	7.60	7.80	7.99	7.94	8.19	8.02	7.91	上昇傾向
図形	8.40	8.40	8.53	8.64	8.64	8.72	8.64	8.57	上昇傾向
視写	8.10	7.95	8.17	8.30	8.31	8.45	8.44	8.25	上昇傾向
計算	8.20	7.95	8.23	8.41	8.36	8.50	8.45	8.30	上昇傾向
英語		7.70	7.95	8.25	8.01	8.36	8.13	8.07	上昇傾向
思考力	8.80	8.49	8.55	8.76	8.47	8.78	8.56	8.63	横ばい



【学習面】教職員

	R2.12	R3.12	R4.12	R5.7	R5.12	期間平均	傾向
全体	7.50	7.40	7.52	7.28	7.22	7.38	下降傾向
音読	6.90	6.90	7.30	6.83	6.91	6.97	横ばい
図形	7.00	7.20	7.25	6.81	7.30	7.11	横ばい
視写	6.80	7.30	7.40	6.88	6.76	7.03	下降傾向
計算	8.10	8.60	8.36	7.74	7.91	8.14	下降傾向
英語			7.84	6.83	6.96	7.21	下降傾向
思考力	8.10	7.80	7.76	7.39	7.15	7.64	下降傾向





【資料3】  
武雄市 教育に関する意思調査  
(令和5年度)  
調査結果

令和6年1月

武雄市教育委員会  
新しい学校づくり課

<調査概要>

○実施方法

生涯学習課より対象者に発送される「二十歳のつどい案内ハガキ」へQRコードを記載し、あわせて、二十歳のつどい会場においても、任意の参加者にQRコードを示しスマートフォン等で読み取るWEB回答方式で実施。

○調査対象

令和5年度 二十歳のつどい出席者

ハガキ発送数 584枚

○調査期間

令和5年10月31日～令和6年1月7日

○回答数

129名 (回答率：22.1%)

○アンケート内容

政府統計「令和4年度こども・若者の意識と生活に関する調査」に準じ、官民一体型学校の効果測定の指標に適する項目を含む設問を、アンケート項目として設定。  
(一部独自の設問を追加) 在校時に官民一体型学校を実施していた学校の卒業生とそれ以外での比較、及び政府統計の結果との比較を行った。

※ 武内小学校、東川登小学校の卒業生は6年生時のみ官民一体型学校を経験。

※ 未実施校の「うち小規模校」とは若木小学校、西川登小学校の卒業生の回答を指す。

○その他

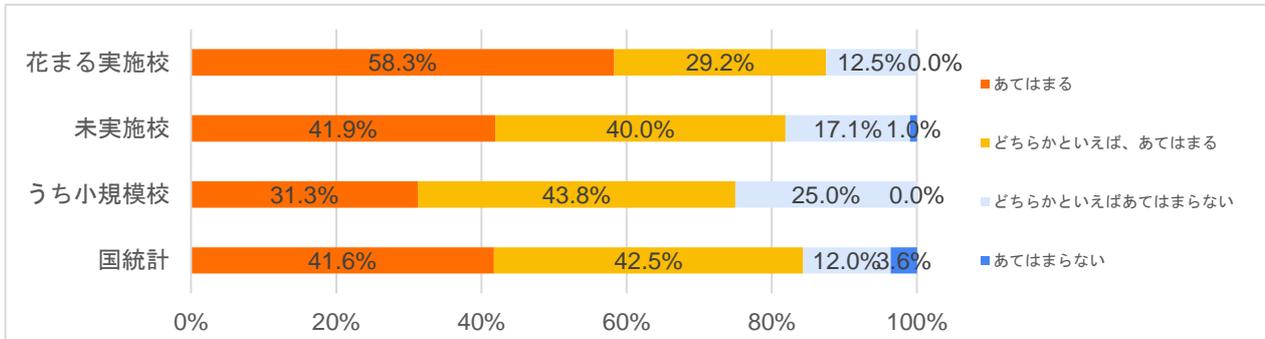
・各アンケート項目は、政府統計「令和4年度こども・若者の意識と生活に関する調査」に準じて設問を設定しています。統計の精度向上のため、設問全体を項目としているため、官民一体型学校の評価に関連性が低いものも含まれている。

・本アンケートは任意による回答に基づいており、全体の傾向を完全に反映したものではないため、傾向を把握するための参考資料とする。

■問1. あなた自身について、次のことがどれくらいあてはまりますか。

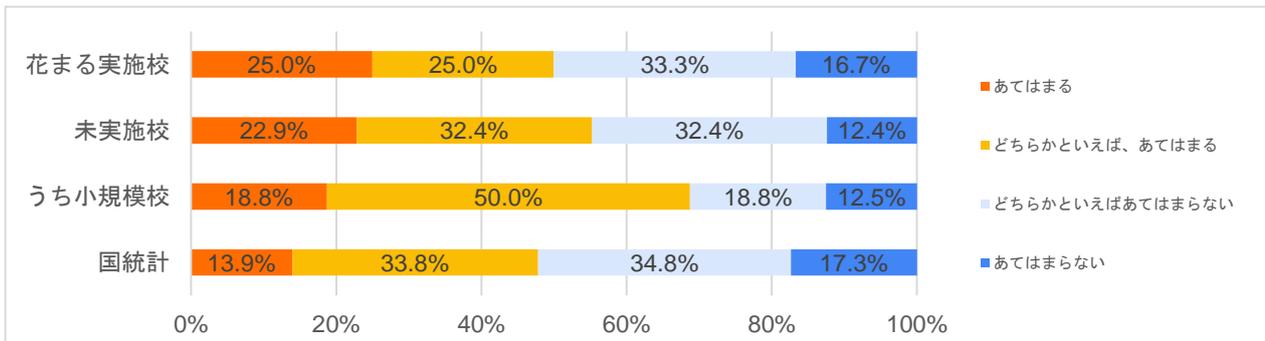
①自分には自分らしさというものがあると思う

	有効回答数	回答数				回答割合			
		①	②	③	④	①	②	③	④
花まる実施校	24	14	7	3	0	58.3%	29.2%	12.5%	0.0%
未実施校	105	44	42	18	1	41.9%	40.0%	17.1%	1.0%
うち小規模校	16	5	7	4	0	31.3%	43.8%	25.0%	0.0%
国統計						41.6%	42.5%	12.0%	3.6%



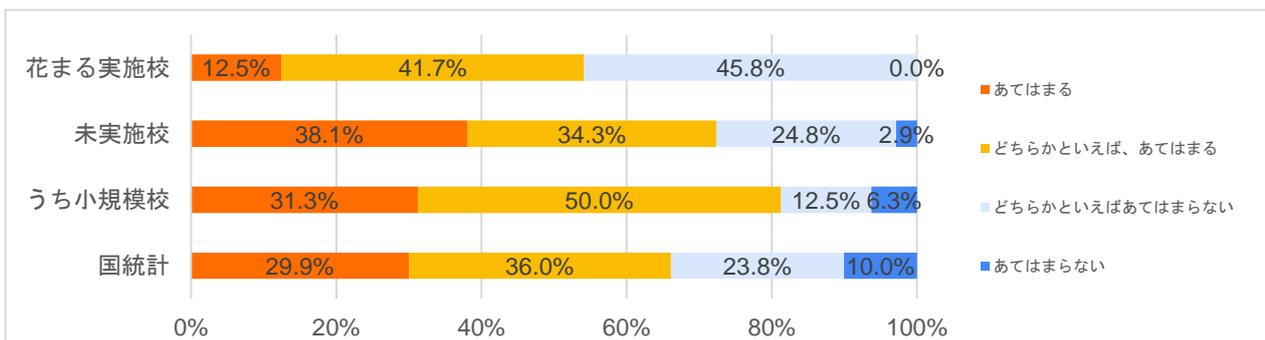
②自分の欲しいものをがまんすることが苦手だ

	有効回答数	回答数				回答割合			
		①	②	③	④	①	②	③	④
花まる実施校	24	6	6	8	4	25.0%	25.0%	33.3%	16.7%
未実施校	105	24	34	34	13	22.9%	32.4%	32.4%	12.4%
うち小規模校	16	3	8	3	2	18.8%	50.0%	18.8%	12.5%
国統計						13.9%	33.8%	34.8%	17.3%



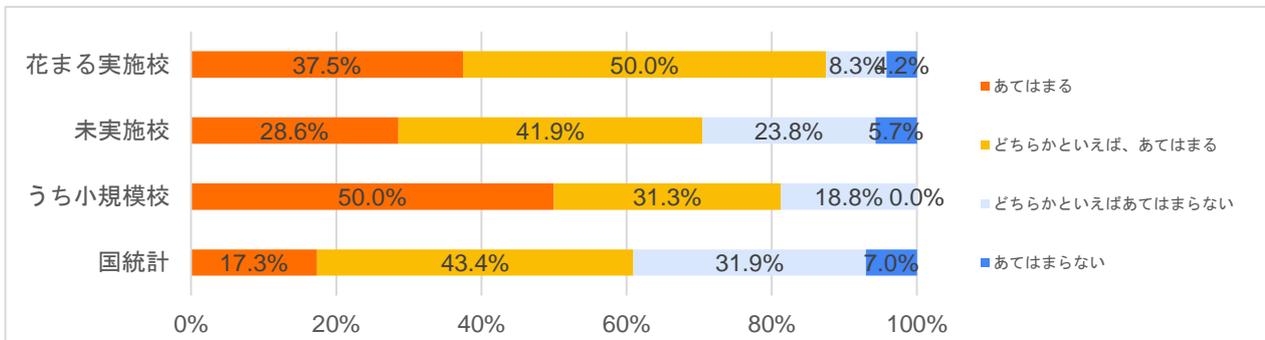
③今の自分を変えたいと思う

	有効回答数	回答数				回答割合			
		①	②	③	④	①	②	③	④
花まる実施校	24	3	10	11	0	12.5%	41.7%	45.8%	0.0%
未実施校	105	40	36	26	3	38.1%	34.3%	24.8%	2.9%
うち小規模校	16	5	8	2	1	31.3%	50.0%	12.5%	6.3%
国統計						29.9%	36.0%	23.8%	10.0%



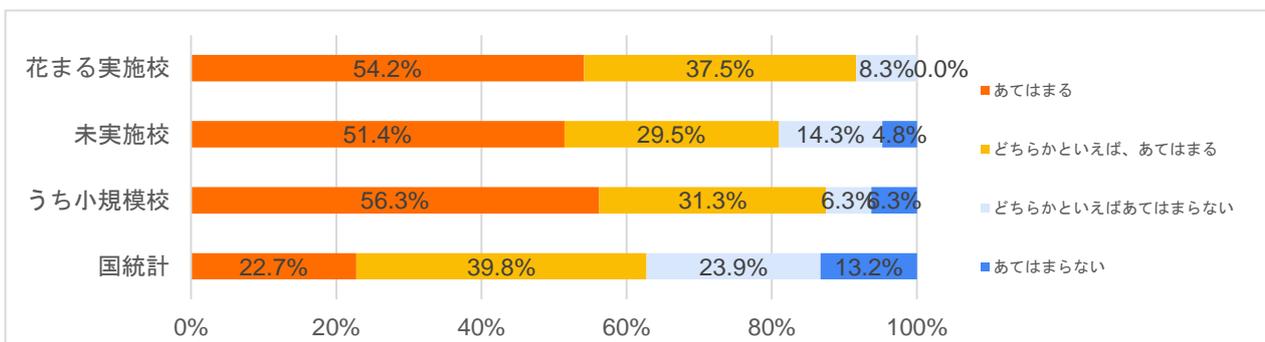
④将来よりも今の生活を楽しみたい

	有効回答数	回答数				回答割合			
		①	②	③	④	①	②	③	④
花まる実施校	24	9	12	2	1	37.5%	50.0%	8.3%	4.2%
未実施校	105	30	44	25	6	28.6%	41.9%	23.8%	5.7%
うち小規模校	16	8	5	3	0	50.0%	31.3%	18.8%	0.0%
国統計						17.3%	43.4%	31.9%	7.0%



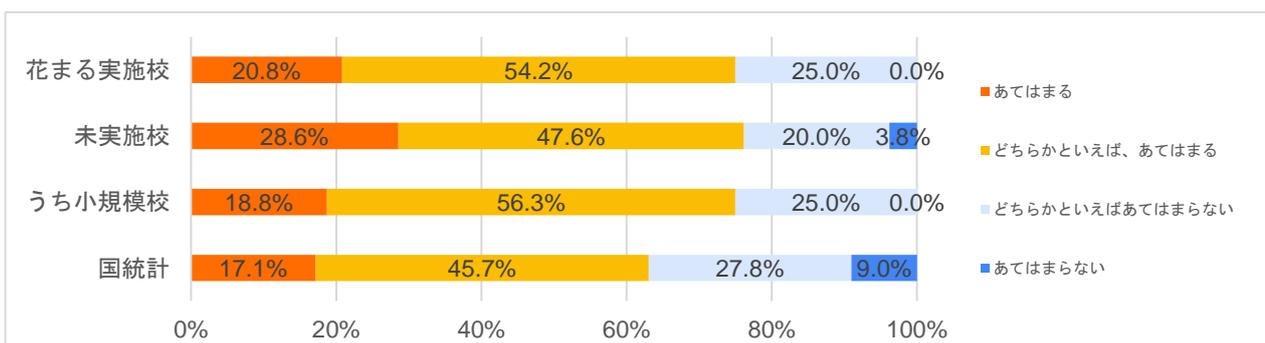
⑤努力すれば希望する職業につくことができる

	有効回答数	回答数				回答割合			
		①	②	③	④	①	②	③	④
花まる実施校	24	13	9	2	0	54.2%	37.5%	8.3%	0.0%
未実施校	105	54	31	15	5	51.4%	29.5%	14.3%	4.8%
うち小規模校	16	9	5	1	1	56.3%	31.3%	6.3%	6.3%
国統計						22.7%	39.8%	23.9%	13.2%



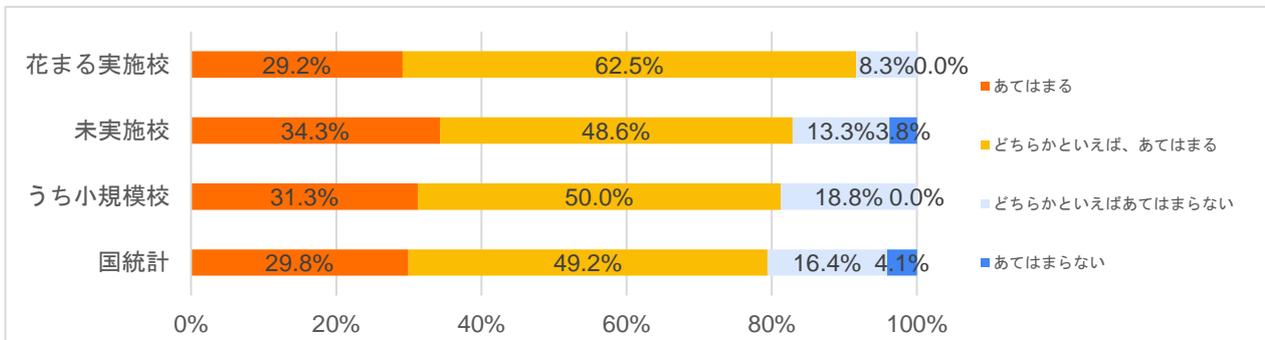
⑥自分の将来は運やチャンスによって決まると思う

	有効回答数	回答数				回答割合			
		①	②	③	④	①	②	③	④
花まる実施校	24	5	13	6	0	20.8%	54.2%	25.0%	0.0%
未実施校	105	30	50	21	4	28.6%	47.6%	20.0%	3.8%
うち小規模校	16	3	9	4	0	18.8%	56.3%	25.0%	0.0%
国統計						17.1%	45.7%	27.8%	9.0%



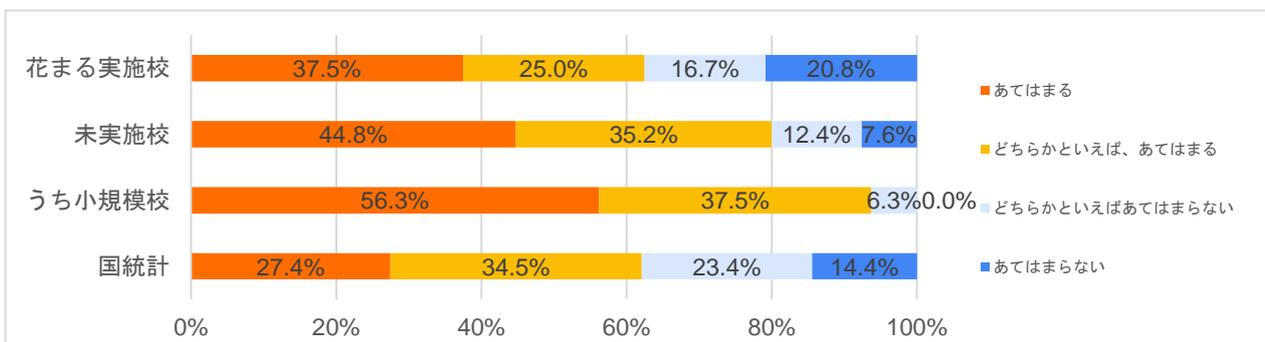
⑦人生で起こることは、結局は自分に原因があると思う

	有効回答数	回答数				回答割合			
		①	②	③	④	①	②	③	④
花まる実施校	24	7	15	2	0	29.2%	62.5%	8.3%	0.0%
未実施校	105	36	51	14	4	34.3%	48.6%	13.3%	3.8%
うち小規模校	16	5	8	3	0	31.3%	50.0%	18.8%	0.0%
国統計						29.8%	49.2%	16.4%	4.1%



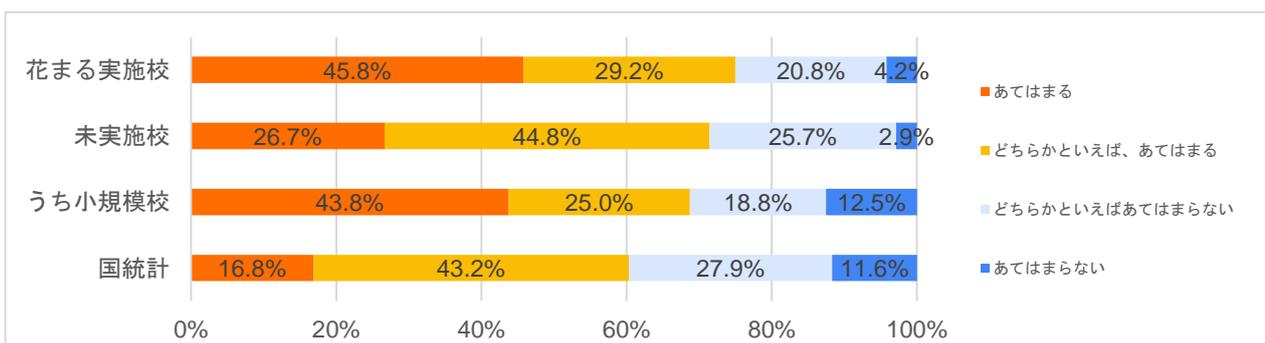
⑧他人に迷惑がかからない限り、どんな考えや行動をとろうが、自分の自由だと思う

	有効回答数	回答数				回答割合			
		①	②	③	④	①	②	③	④
花まる実施校	24	9	6	4	5	37.5%	25.0%	16.7%	20.8%
未実施校	105	47	37	13	8	44.8%	35.2%	12.4%	7.6%
うち小規模校	16	9	6	1	0	56.3%	37.5%	6.3%	0.0%
国統計						27.4%	34.5%	23.4%	14.4%



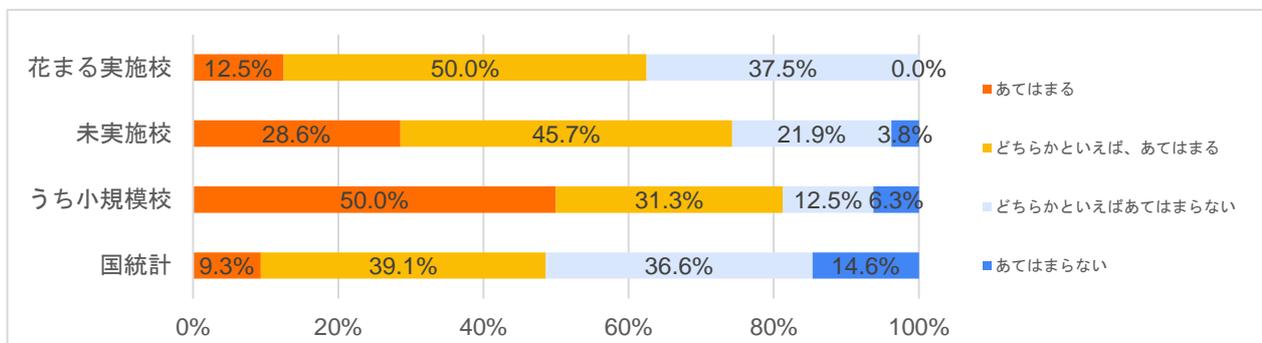
⑨今の自分が好きだ

	有効回答数	回答数				回答割合			
		①	②	③	④	①	②	③	④
花まる実施校	24	11	7	5	1	45.8%	29.2%	20.8%	4.2%
未実施校	105	28	47	27	3	26.7%	44.8%	25.7%	2.9%
うち小規模校	16	7	4	3	2	43.8%	25.0%	18.8%	12.5%
国統計						16.8%	43.2%	27.9%	11.6%



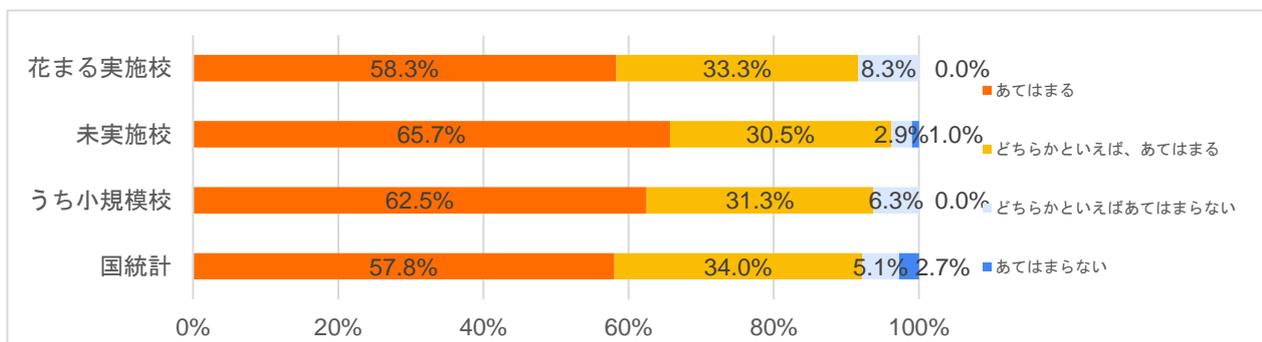
⑩自分らしさを強調するより、他人と同じことをしていると安心だ

	有効回答数	回答数				回答割合			
		①	②	③	④	①	②	③	④
花まる実施校	24	3	12	9	0	12.5%	50.0%	37.5%	0.0%
未実施校	105	30	48	23	4	28.6%	45.7%	21.9%	3.8%
うち小規模校	16	8	5	2	1	50.0%	31.3%	12.5%	6.3%
国統計						9.3%	39.1%	36.6%	14.6%



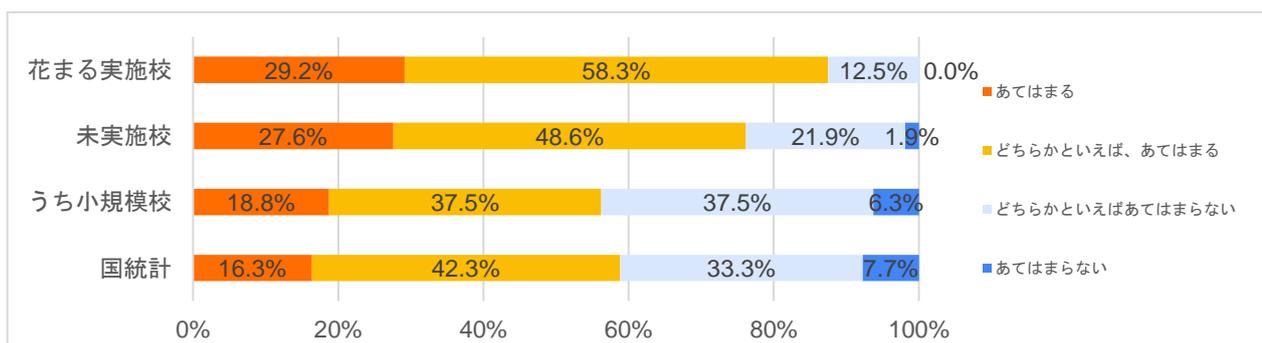
⑪自分の親（保護者）から愛されていると思う

	有効回答数	回答数				回答割合			
		①	②	③	④	①	②	③	④
花まる実施校	24	14	8	2	0	58.3%	33.3%	8.3%	0.0%
未実施校	105	69	32	3	1	65.7%	30.5%	2.9%	1.0%
うち小規模校	16	10	5	1	0	62.5%	31.3%	6.3%	0.0%
国統計						57.8%	34.0%	5.1%	2.7%



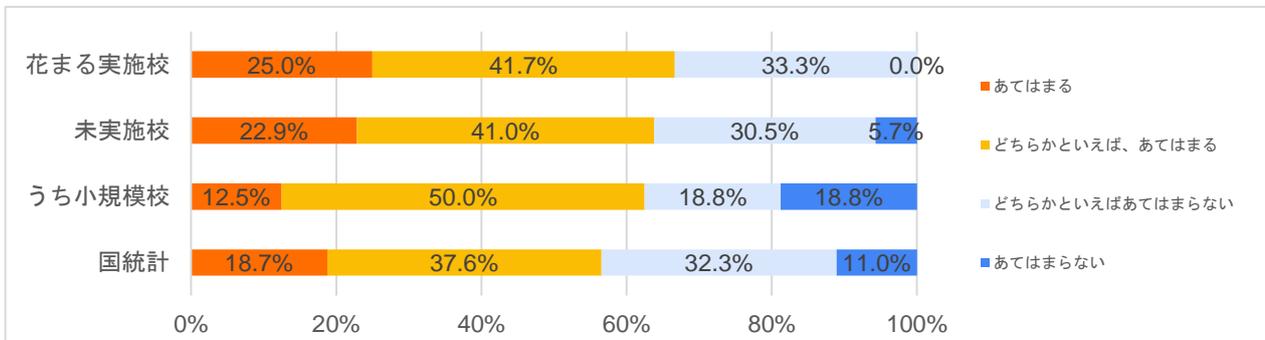
⑫うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む

	有効回答数	回答数				回答割合			
		①	②	③	④	①	②	③	④
花まる実施校	24	7	14	3	0	29.2%	58.3%	12.5%	0.0%
未実施校	105	29	51	23	2	27.6%	48.6%	21.9%	1.9%
うち小規模校	16	3	6	6	1	18.8%	37.5%	37.5%	6.3%
国統計						16.3%	42.3%	33.3%	7.7%



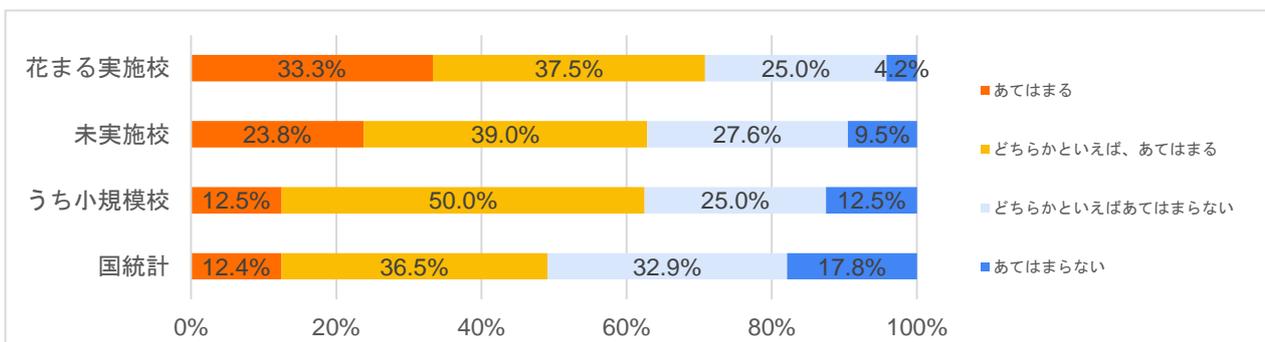
⑬自分の考えをはっきり相手に伝えることができる

	有効回答数	回答数				回答割合			
		①	②	③	④	①	②	③	④
花まる実施校	24	6	10	8	0	25.0%	41.7%	33.3%	0.0%
未実施校	105	24	43	32	6	22.9%	41.0%	30.5%	5.7%
うち小規模校	16	2	8	3	3	12.5%	50.0%	18.8%	18.8%
国統計						18.7%	37.6%	32.3%	11.0%



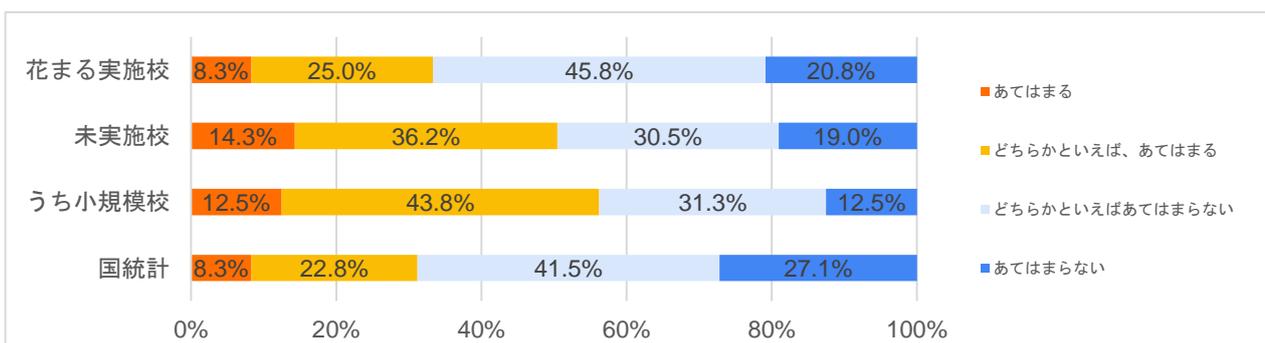
⑭自分自身に満足している

	有効回答数	回答数				回答割合			
		①	②	③	④	①	②	③	④
花まる実施校	24	8	9	6	1	33.3%	37.5%	25.0%	4.2%
未実施校	105	25	41	29	10	23.8%	39.0%	27.6%	9.5%
うち小規模校	16	2	8	4	2	12.5%	50.0%	25.0%	12.5%
国統計						12.4%	36.5%	32.9%	17.8%



⑮自分は役に立たないと強く感じる

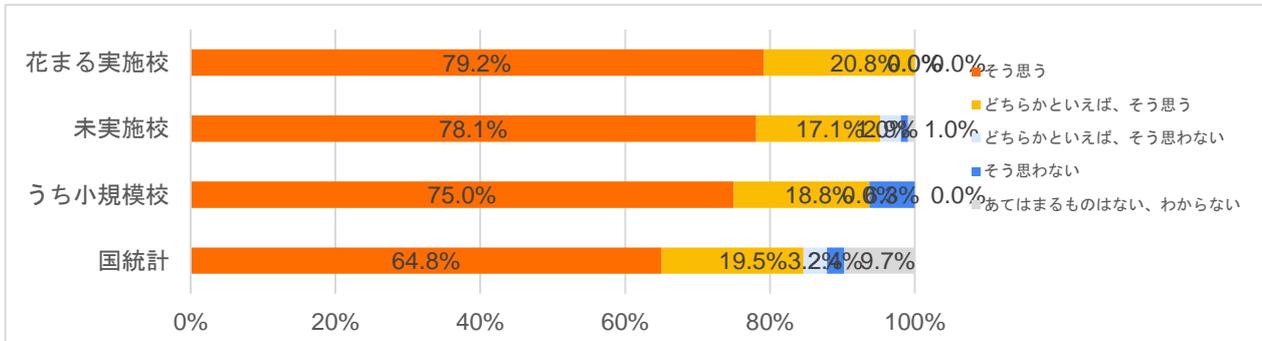
	有効回答数	回答数				回答割合			
		①	②	③	④	①	②	③	④
花まる実施校	24	2	6	11	5	8.3%	25.0%	45.8%	20.8%
未実施校	105	15	38	32	20	14.3%	36.2%	30.5%	19.0%
うち小規模校	16	2	7	5	2	12.5%	43.8%	31.3%	12.5%
国統計						8.3%	22.8%	41.5%	27.1%



■問2. 次の場所は、今のあなたにとって居場所（ほっとできる場所、居心地のよい場所など）  
 になっていますか。

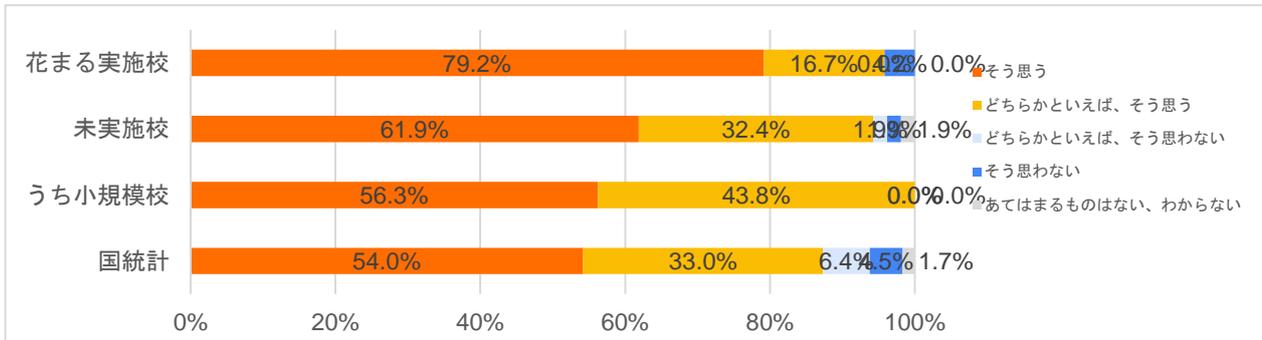
①自分の部屋

	有効 回答数	回答数					回答割合				
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤
花まる実施校	24	19	5	0	0	0	79.2%	20.8%	0.0%	0.0%	0.0%
未実施校	105	82	18	3	1	1	78.1%	17.1%	2.9%	1.0%	1.0%
うち小規模校	16	12	3	0	1	0	75.0%	18.8%	0.0%	6.3%	0.0%
国統計							64.8%	19.5%	3.2%	2.4%	9.7%



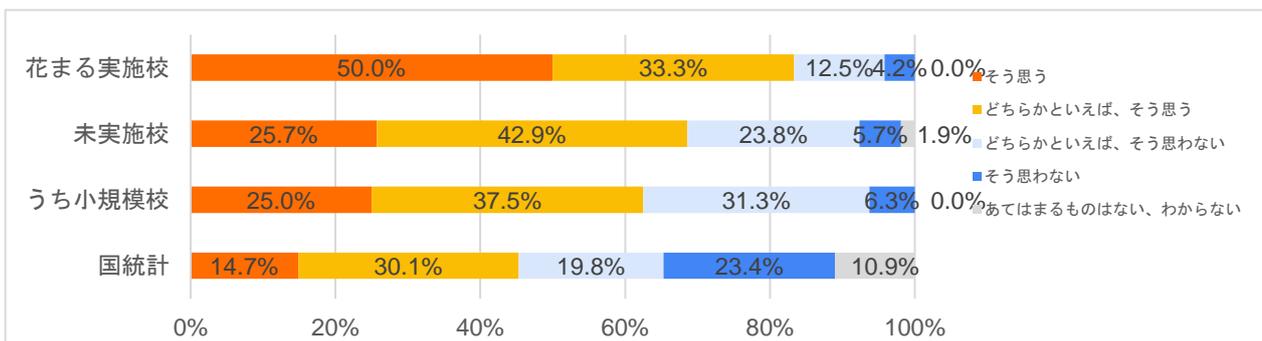
②家族（家族や親族の家を含む）

	有効 回答数	回答数					回答割合				
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤
花まる実施校	24	19	4	0	1	0	79.2%	16.7%	0.0%	4.2%	0.0%
未実施校	105	65	34	2	2	2	61.9%	32.4%	1.9%	1.9%	1.9%
うち小規模校	16	9	7	0	0	0	56.3%	43.8%	0.0%	0.0%	0.0%
国統計							54.0%	33.0%	6.4%	4.5%	1.7%



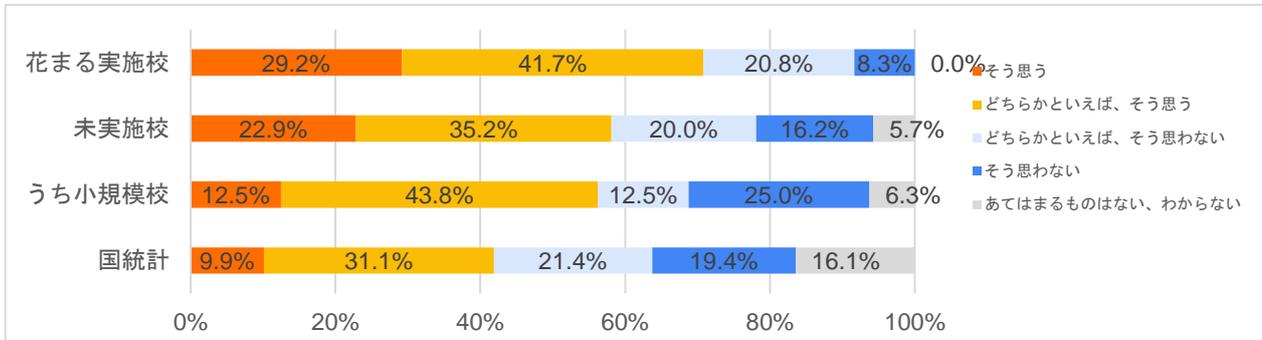
③学校（卒業した学校を含む）

	有効 回答数	回答数					回答割合				
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤
花まる実施校	24	12	8	3	1	0	50.0%	33.3%	12.5%	4.2%	0.0%
未実施校	105	27	45	25	6	2	25.7%	42.9%	23.8%	5.7%	1.9%
うち小規模校	16	4	6	5	1	0	25.0%	37.5%	31.3%	6.3%	0.0%
国統計							14.7%	30.1%	19.8%	23.4%	10.9%



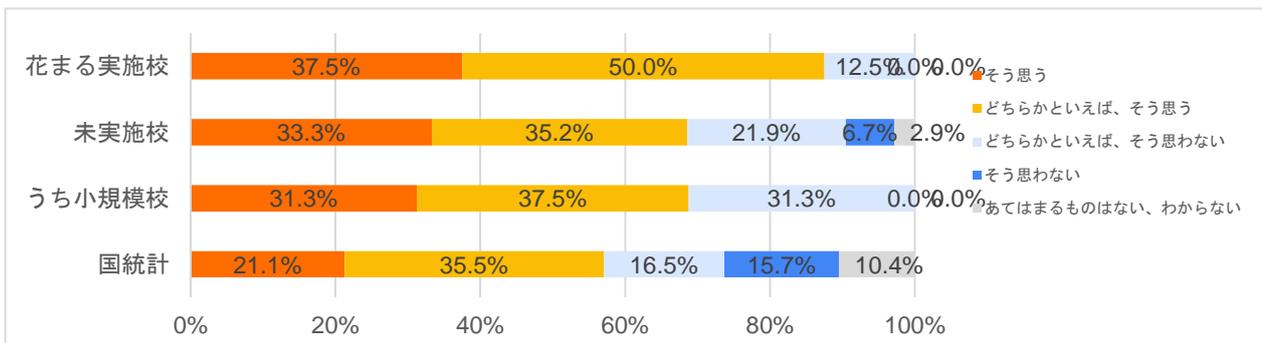
④職場（過去の職場を含む）

	有効 回答数	回答数					回答割合				
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤
花まる実施校	24	7	10	5	2	0	29.2%	41.7%	20.8%	8.3%	0.0%
未実施校	105	24	37	21	17	6	22.9%	35.2%	20.0%	16.2%	5.7%
うち小規模校	16	2	7	2	4	1	12.5%	43.8%	12.5%	25.0%	6.3%
国統計							9.9%	31.1%	21.4%	19.4%	16.1%



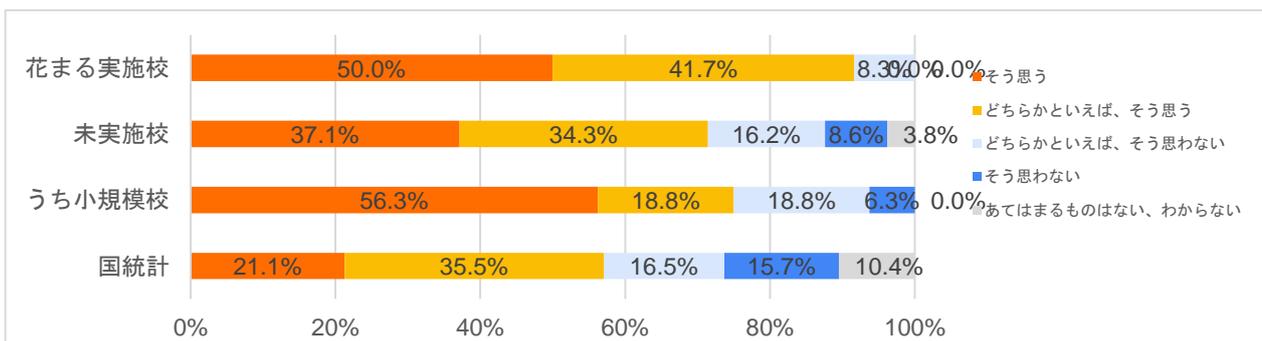
⑤地域（図書館や公民館や公園など、現在すんでいる場所やそこにある建物など）

	有効 回答数	回答数					回答割合				
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤
花まる実施校	24	9	12	3	0	0	37.5%	50.0%	12.5%	0.0%	0.0%
未実施校	105	35	37	23	7	3	33.3%	35.2%	21.9%	6.7%	2.9%
うち小規模校	16	5	6	5	0	0	31.3%	37.5%	31.3%	0.0%	0.0%
国統計							21.1%	35.5%	16.5%	15.7%	10.4%



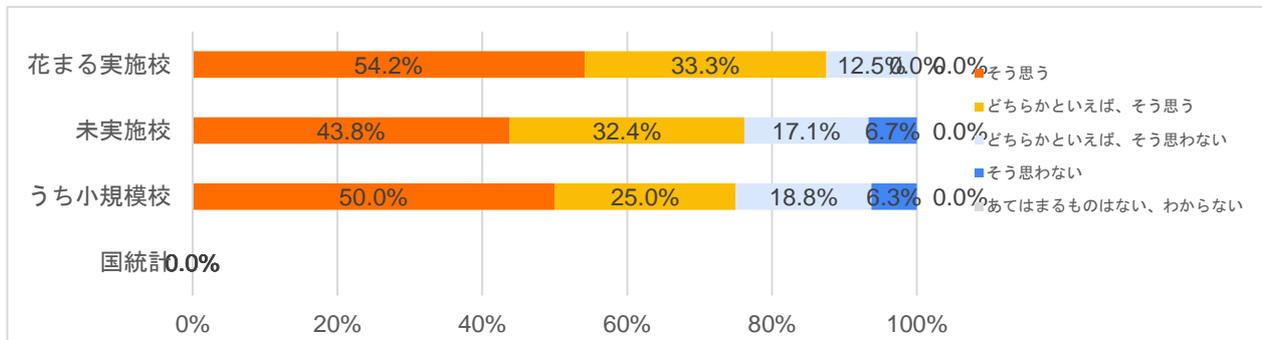
⑥インターネット空間（SNS, Youtubeやオンラインゲームなど）

	有効 回答数	回答数					回答割合				
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤
花まる実施校	24	12	10	2	0	0	50.0%	41.7%	8.3%	0.0%	0.0%
未実施校	105	39	36	17	9	4	37.1%	34.3%	16.2%	8.6%	3.8%
うち小規模校	16	9	3	3	1	0	56.3%	18.8%	18.8%	6.3%	0.0%
国統計							21.1%	35.5%	16.5%	15.7%	10.4%



⑦地元（以前住んでいた場所の図書館や公民館や公園、そこにある建物など）

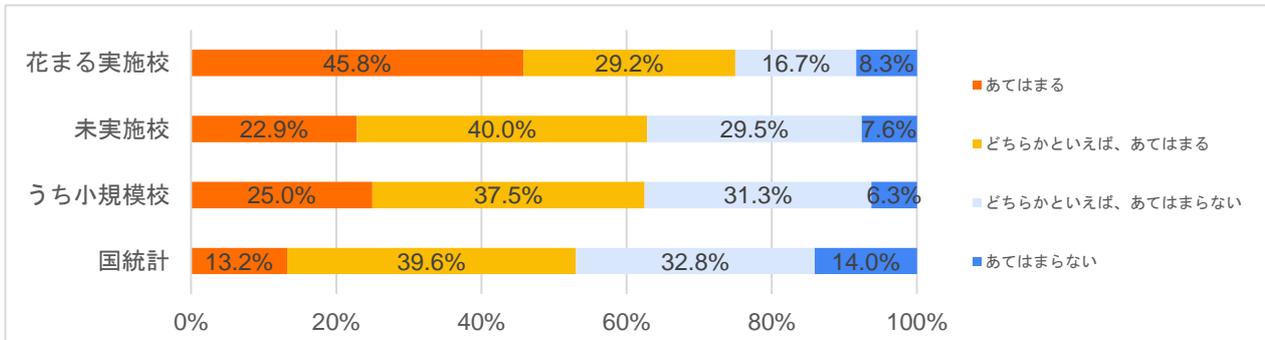
	有効 回答数	回答数					回答割合				
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤
花まる実施校	24	13	8	3	0	0	54.2%	33.3%	12.5%	0.0%	0.0%
未実施校	105	46	34	18	7	0	43.8%	32.4%	17.1%	6.7%	0.0%
うち小規模校	16	8	4	3	1	0	50.0%	25.0%	18.8%	6.3%	0.0%
国統計											



■問3. あなたは他の人と付き合う時、次のようなことがどれくらいあてはまりますか。

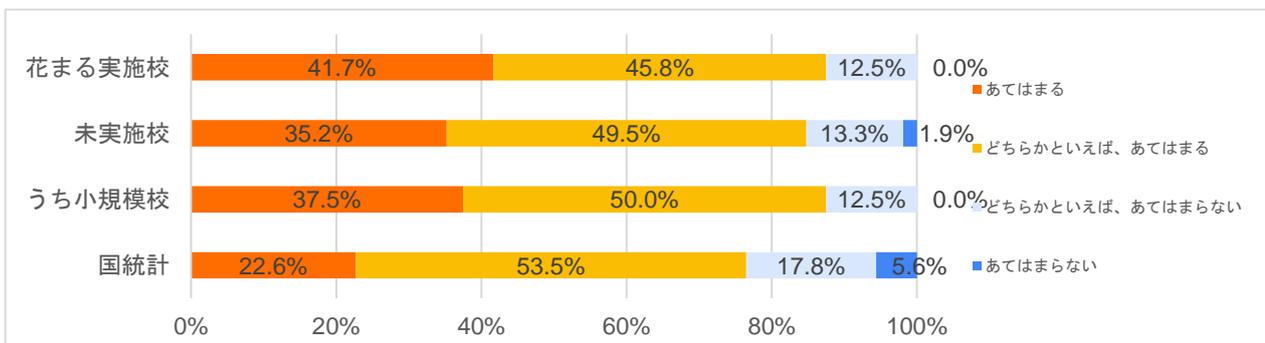
①誰とでもすぐ仲良くなれる

	有効回答数	回答数				回答割合			
		①	②	③	④	①	②	③	④
花まる実施校	24	11	7	4	2	45.8%	29.2%	16.7%	8.3%
未実施校	105	24	42	31	8	22.9%	40.0%	29.5%	7.6%
うち小規模校	16	4	6	5	1	25.0%	37.5%	31.3%	6.3%
国統計						13.2%	39.6%	32.8%	14.0%



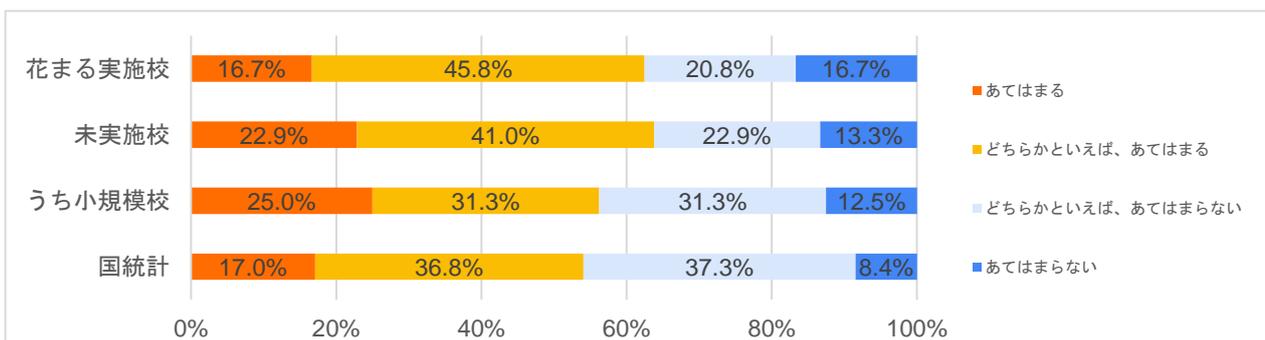
②表情やしぐさで相手の思っていることがわかる

	有効回答数	回答数				回答割合			
		①	②	③	④	①	②	③	④
花まる実施校	24	10	11	3	0	41.7%	45.8%	12.5%	0.0%
未実施校	105	37	52	14	2	35.2%	49.5%	13.3%	1.9%
うち小規模校	16	6	8	2	0	37.5%	50.0%	12.5%	0.0%
国統計						22.6%	53.5%	17.8%	5.6%



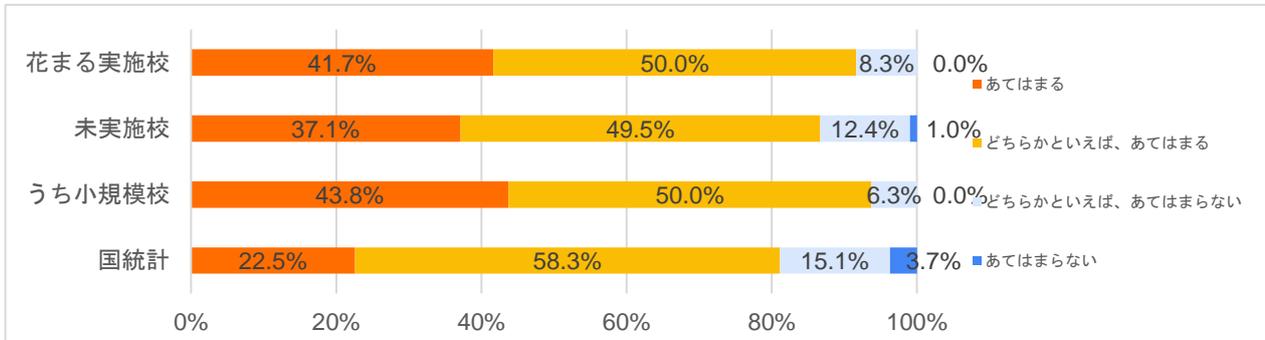
③親しい人に頼まれてもやりたくないことは断る

	有効回答数	回答数				回答割合			
		①	②	③	④	①	②	③	④
花まる実施校	24	4	11	5	4	16.7%	45.8%	20.8%	16.7%
未実施校	105	24	43	24	14	22.9%	41.0%	22.9%	13.3%
うち小規模校	16	4	5	5	2	25.0%	31.3%	31.3%	12.5%
国統計						17.0%	36.8%	37.3%	8.4%



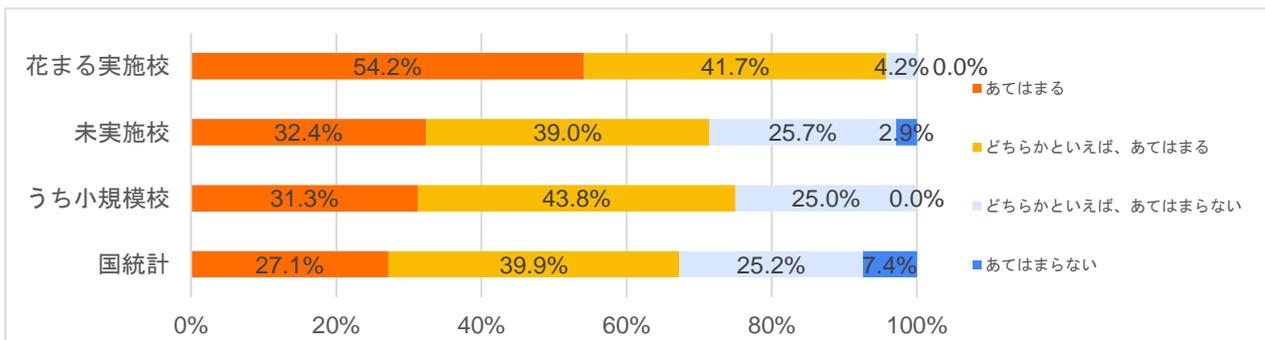
④その場にあった行動がとれる

	有効回答数	回答数				回答割合			
		①	②	③	④	①	②	③	④
花まる実施校	24	10	12	2	0	41.7%	50.0%	8.3%	0.0%
未実施校	105	39	52	13	1	37.1%	49.5%	12.4%	1.0%
うち小規模校	16	7	8	1	0	43.8%	50.0%	6.3%	0.0%
国統計						22.5%	58.3%	15.1%	3.7%



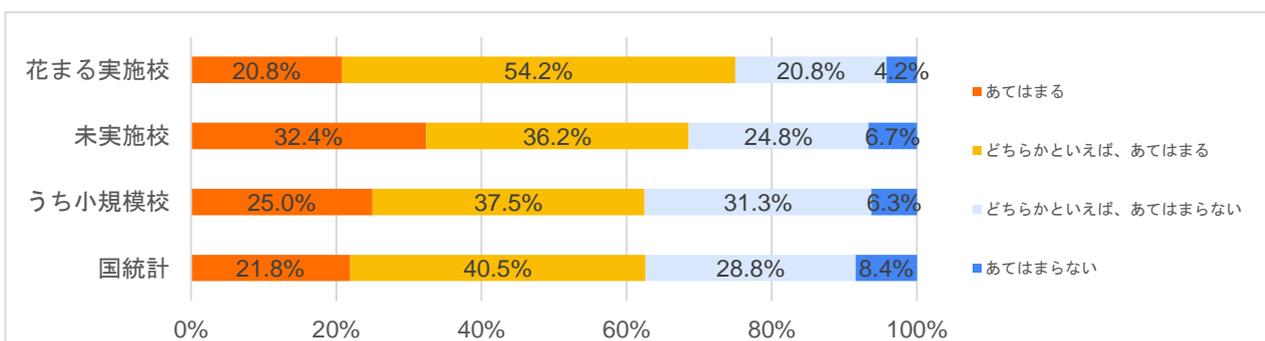
⑤表情が豊かである

	有効回答数	回答数				回答割合			
		①	②	③	④	①	②	③	④
花まる実施校	24	13	10	1	0	54.2%	41.7%	4.2%	0.0%
未実施校	105	34	41	27	3	32.4%	39.0%	25.7%	2.9%
うち小規模校	16	5	7	4	0	31.3%	43.8%	25.0%	0.0%
国統計						27.1%	39.9%	25.2%	7.4%



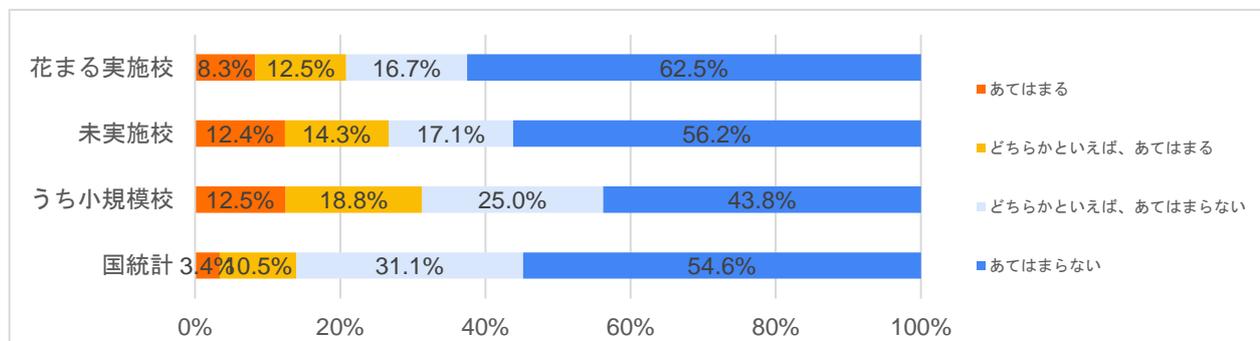
⑥気持ちを抑えようとしても、顔に出してしまう

	有効回答数	回答数				回答割合			
		①	②	③	④	①	②	③	④
花まる実施校	24	5	13	5	1	20.8%	54.2%	20.8%	4.2%
未実施校	105	34	38	26	7	32.4%	36.2%	24.8%	6.7%
うち小規模校	16	4	6	5	1	25.0%	37.5%	31.3%	6.3%
国統計						21.8%	40.5%	28.8%	8.4%



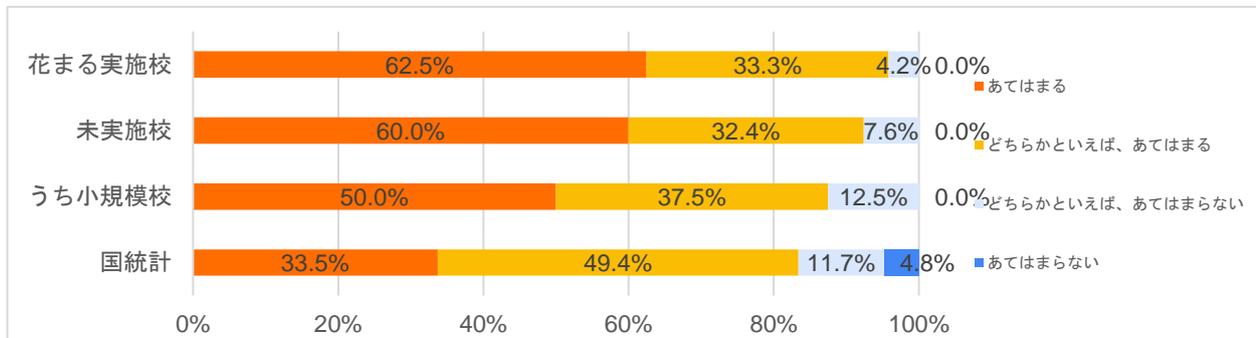
⑦人にぶつかっても、あやまらないことがある

	有効回答数	回答数				回答割合			
		①	②	③	④	①	②	③	④
花まる実施校	24	2	3	4	15	8.3%	12.5%	16.7%	62.5%
未実施校	105	13	15	18	59	12.4%	14.3%	17.1%	56.2%
うち小規模校	16	2	3	4	7	12.5%	18.8%	25.0%	43.8%
国統計						3.4%	10.5%	31.1%	54.6%



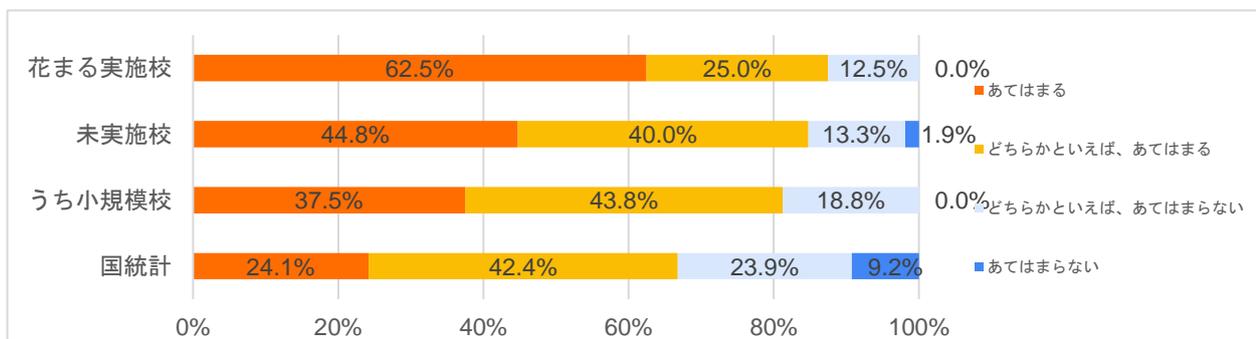
■問4. あなたは、「社会のために役立つことをしたい」と思いますか。

	有効回答数	回答数				回答割合			
		①	②	③	④	①	②	③	④
花まる実施校	24	15	8	1	0	62.5%	33.3%	4.2%	0.0%
未実施校	105	63	34	8	0	60.0%	32.4%	7.6%	0.0%
うち小規模校	16	8	6	2	0	50.0%	37.5%	12.5%	0.0%
国統計						33.5%	49.4%	11.7%	4.8%



■問5. あなたは自分の将来について明るい希望をもっていますか。

	有効回答数	回答数				回答割合			
		①	②	③	④	①	②	③	④
花まる実施校	24	15	6	3	0	62.5%	25.0%	12.5%	0.0%
未実施校	105	47	42	14	2	44.8%	40.0%	13.3%	1.9%
うち小規模校	16	6	7	3	0	37.5%	43.8%	18.8%	0.0%
国統計						24.1%	42.4%	23.9%	9.2%





**【資料4】**  
**官民一体型学校「武雄花まる学園」**  
**運営面の評価に関するアンケート**  
**調査結果**

令和5年11月

武雄市教育委員会  
新しい学校づくり課

<調査概要>

○実施方法

官民一体型学校に関する運営面の評価を行うため、学校や地域学校協働本部、公民館の区分ごとにWEBアンケートを実施し回答を収集した。

○調査対象及び有効回答数。

学校向けアンケート : 管理職（校長、副校長、教頭）、花まる担当及び学級担任 有効回答数 138人

地域学校協働本部向けアンケート : 各地域学校協働本部員、支援員 おおむね10名（本部長含む、教職員、公民館を除く）  
有効回答数 88人

本部事務局向けアンケート : 各地域学校協働本部事務局（公民館長、公民館主事、地域支援員） 有効回答数 26人

○実回答期間

令和5年10月10日～11月9日

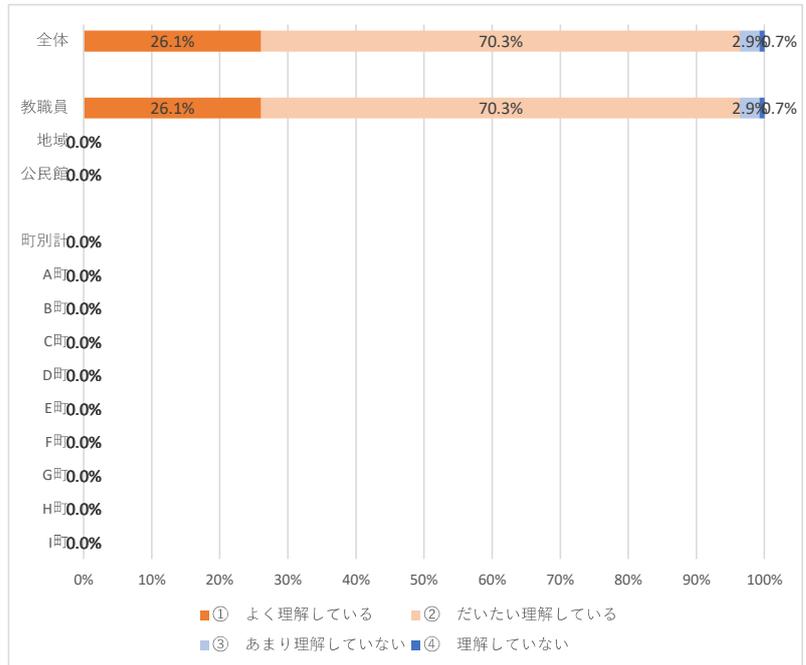
■趣旨理解

問1. 花まるタイムの意義や「サボテン」「あさがお」「音読」「キューブキューブ・パターンメーカー」などの各モジュールの目的を理解して実施できていますか？

【属性別】	回答数	回答			
		①	②	③	④
教職員	138	36	97	4	1
地域学校協働本部	0	0	0	0	0
公民館	0	0	0	0	0
合計	138	36	97	4	1

【町別（地域+公民館）】	回答数	回答			
		①	②	③	④
A町	0	0	0	0	0
B町	0	0	0	0	0
C町	0	0	0	0	0
D町	0	0	0	0	0
E町	0	0	0	0	0
F町	0	0	0	0	0
G町	0	0	0	0	0
H町	0	0	0	0	0
I町	0	0	0	0	0
町別計	0	0	0	0	0

回答	① よく理解している
選択肢	② だいたい理解している
	③ あまり理解していない
	④ 理解していない



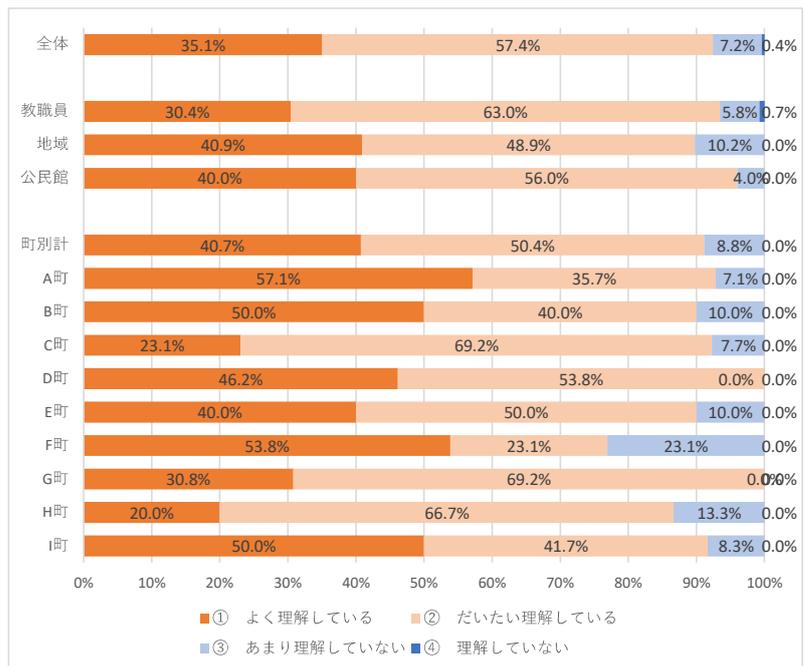
■趣旨理解

問2. 「地域の子どもは地域で育てる」「地域の多様な大人と接することで子どもたちの社会性を育む」「子どもたちが地域の一員としてつながりを深めることで地域に対する愛着を深める」など、地域連携の意義を理解して実施できていますか？

【属性別】	回答数	回答			
		①	②	③	④
教職員	138	42	87	8	1
地域学校協働本部	88	36	43	9	0
公民館	25	10	14	1	0
合計	251	88	144	18	1

【町別（地域+公民館）】	回答数	回答			
		①	②	③	④
A町	14	8	5	1	0
B町	10	5	4	1	0
C町	13	3	9	1	0
D町	13	6	7	0	0
E町	10	4	5	1	0
F町	13	7	3	3	0
G町	13	4	9	0	0
H町	15	3	10	2	0
I町	12	6	5	1	0
町別計	113	46	57	10	0

回答	① よく理解している
選択肢	② だいたい理解している
	③ あまり理解していない
	④ 理解していない



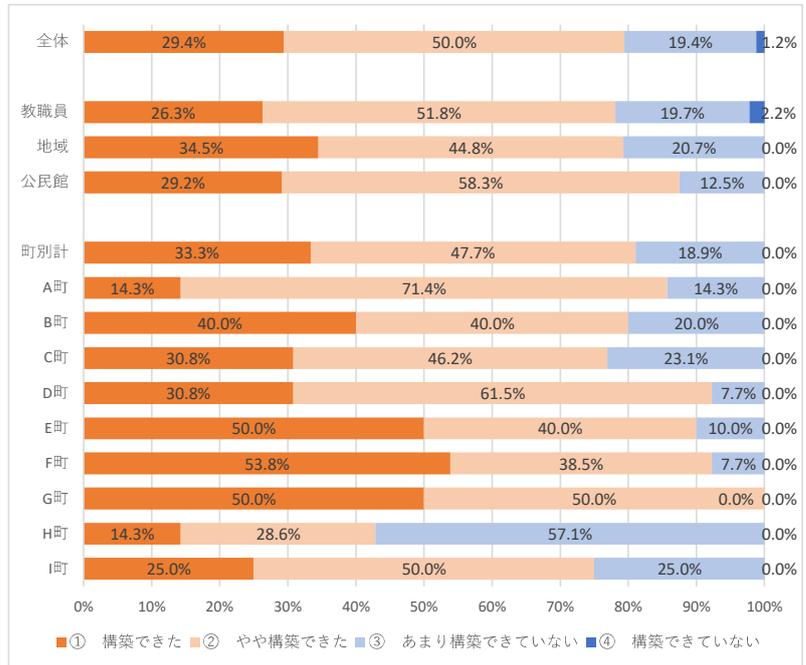
■地域連携

問3. 花まるタイムに支援員が入ることで、学校（教職員）と地域の顔が見える関係の構築ができていますか？

【属性別】	回答数	回答			
		①	②	③	④
教職員	137	36	71	27	3
地域学校協働本部	87	30	39	18	0
公民館	24	7	14	3	0
合計	248	73	124	48	3

【町別（地域＋公民館）】	回答数	回答			
		①	②	③	④
A町	14	2	10	2	0
B町	10	4	4	2	0
C町	13	4	6	3	0
D町	13	4	8	1	0
E町	10	5	4	1	0
F町	13	7	5	1	0
G町	12	6	6	0	0
H町	14	2	4	8	0
I町	12	3	6	3	0
町別計	111	37	53	21	0

回答	① 構築できた
選択肢	② やや構築できた
	③ あまり構築できていない
	④ 構築できていない



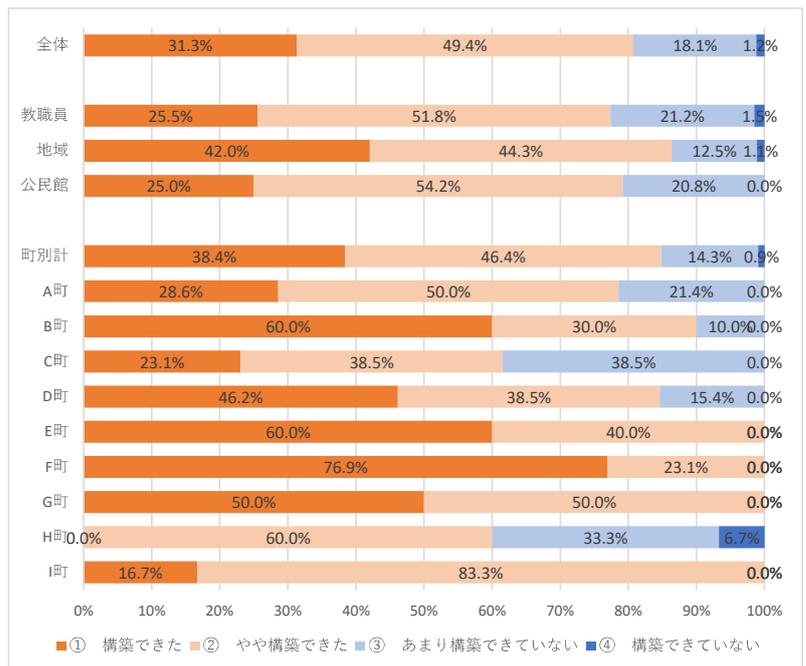
■地域連携

問4. 花まるタイムに支援員が入ることで、児童と地域の顔が見える関係が構築できていますか？

【属性別】	回答数	回答			
		①	②	③	④
教職員	137	35	71	29	2
地域学校協働本部	88	37	39	11	1
公民館	24	6	13	5	0
合計	249	78	123	45	3

【町別（地域＋公民館）】	回答数	回答			
		①	②	③	④
A町	14	4	7	3	0
B町	10	6	3	1	0
C町	13	3	5	5	0
D町	13	6	5	2	0
E町	10	6	4	0	0
F町	13	10	3	0	0
G町	12	6	6	0	0
H町	15	0	9	5	1
I町	12	2	10	0	0
町別計	112	43	52	16	1

回答	① 構築できた
選択肢	② やや構築できた
	③ あまり構築できていない
	④ 構築できていない



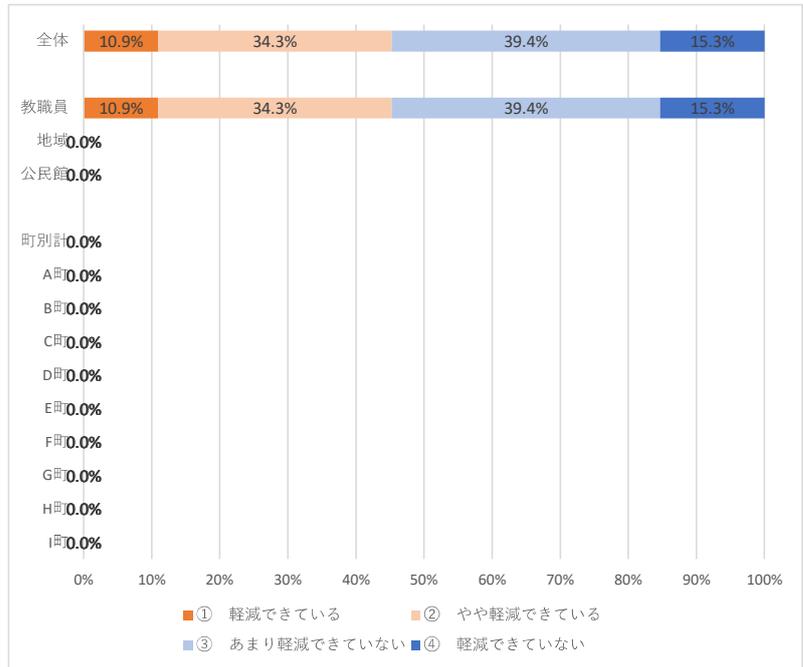
■地域連携

問5. 花まるタイムに支援員が入ることで、教職員の負担は軽減できていますか？

【属性別】	回答数	回答			
		①	②	③	④
教職員	137	15	47	54	21
地域学校協働本部	0	0	0	0	0
公民館	0	0	0	0	0
合計	137	15	47	54	21

【町別（地域+公民館）】	回答数	回答			
		①	②	③	④
A町	0	0	0	0	0
B町	0	0	0	0	0
C町	0	0	0	0	0
D町	0	0	0	0	0
E町	0	0	0	0	0
F町	0	0	0	0	0
G町	0	0	0	0	0
H町	0	0	0	0	0
I町	0	0	0	0	0
町別計	0	0	0	0	0

回答	① 軽減できている
選択肢	② やや軽減できている
	③ あまり軽減できていない
	④ 軽減できていない



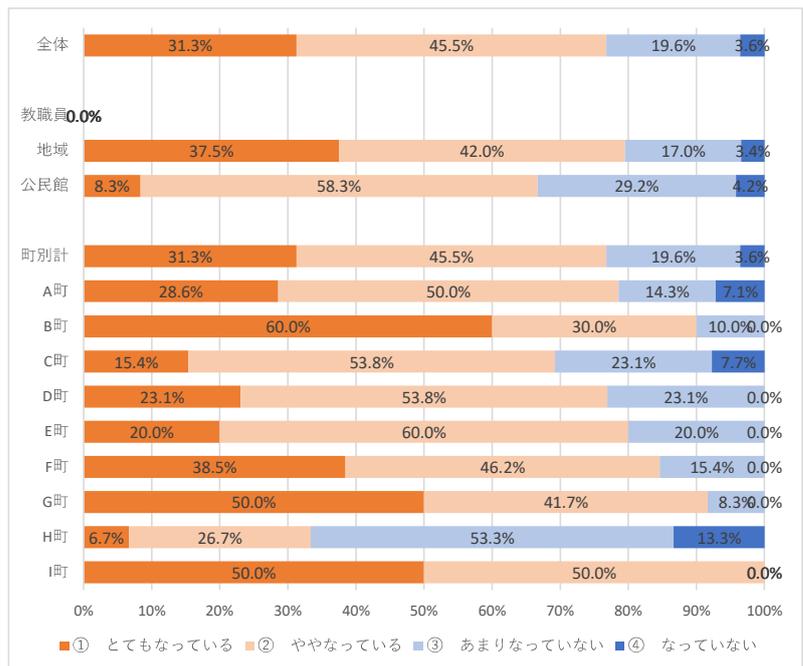
■地域連携

問6. 花まるタイムへの参加は、支援員（自身も含め）の「やりがい」や「楽しみ」になっていると感じますか？

【属性別】	回答数	回答			
		①	②	③	④
教職員	0	0	0	0	0
地域学校協働本部	88	33	37	15	3
公民館	24	2	14	7	1
合計	112	35	51	22	4

【町別（地域+公民館）】	回答数	回答			
		①	②	③	④
A町	14	4	7	2	1
B町	10	6	3	1	0
C町	13	2	7	3	1
D町	13	3	7	3	0
E町	10	2	6	2	0
F町	13	5	6	2	0
G町	12	6	5	1	0
H町	15	1	4	8	2
I町	12	6	6	0	0
町別計	112	35	51	22	4

回答	① とよなっている
選択肢	② ややなっている
	③ あまりなっていない
	④ なっていない



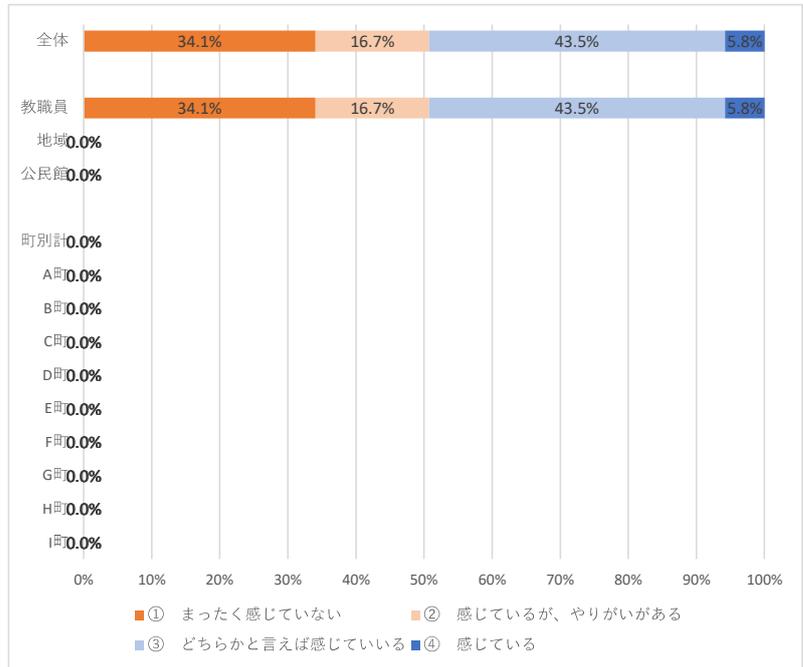
■準備・調整

問7. 花まるタイムを実施する際、事前の教材等の準備に負担を感じていますか？

【属性別】	回答数	回答			
		①	②	③	④
教職員	138	47	23	60	8
地域学校協働本部	0	0	0	0	0
公民館	0	0	0	0	0
合計	138	47	23	60	8

【町別（地域+公民館）】	回答数	回答			
		①	②	③	④
A町	0	0	0	0	0
B町	0	0	0	0	0
C町	0	0	0	0	0
D町	0	0	0	0	0
E町	0	0	0	0	0
F町	0	0	0	0	0
G町	0	0	0	0	0
H町	0	0	0	0	0
I町	0	0	0	0	0
町別計	0	0	0	0	0

回答	① まったく感じていない
選択肢	② 感じているが、やりがいがある
	③ どちらかと言えば感じている
	④ 感じている



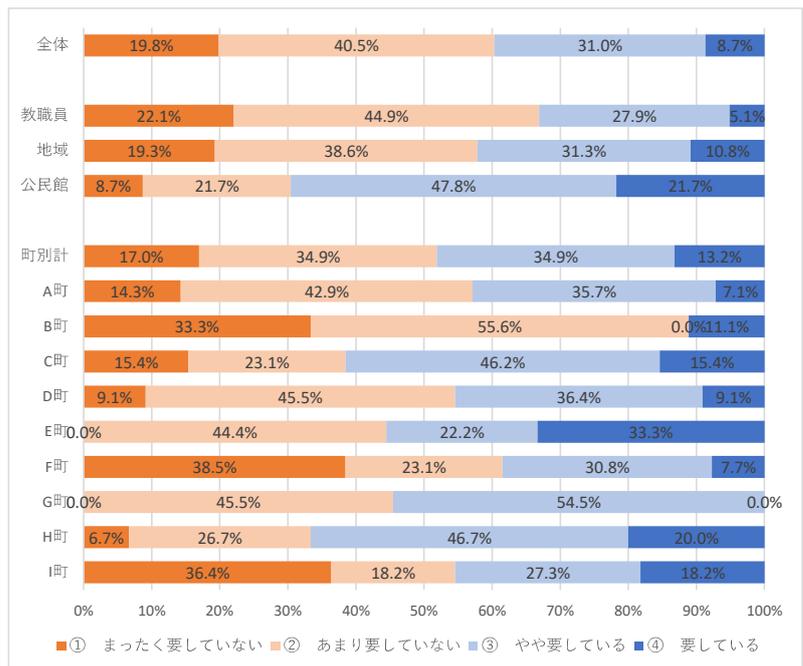
■準備・調整

問8. 花まるタイムに支援員が入るための、学校と協働本部の間の日程調整に時間や労力を要していますか？

【属性別】	回答数	回答			
		①	②	③	④
教職員	136	30	61	38	7
地域学校協働本部	83	16	32	26	9
公民館	23	2	5	11	5
合計	242	48	98	75	21

【町別（地域+公民館）】	回答数	回答			
		①	②	③	④
A町	14	2	6	5	1
B町	9	3	5	0	1
C町	13	2	3	6	2
D町	11	1	5	4	1
E町	9	0	4	2	3
F町	13	5	3	4	1
G町	11	0	5	6	0
H町	15	1	4	7	3
I町	11	4	2	3	2
町別計	106	18	37	37	14

回答	① まったく要していない
選択肢	② あまり要していない
	③ やや要している
	④ 要している



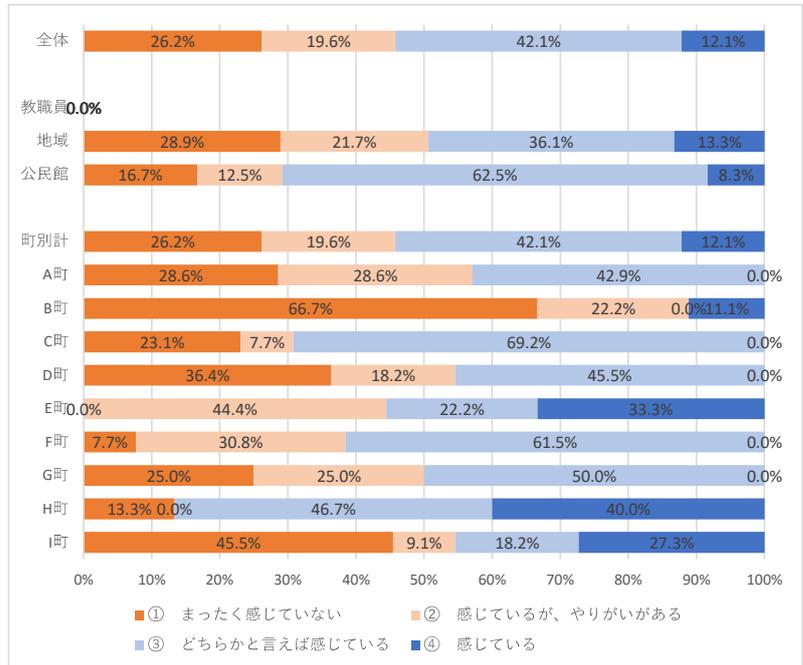
■準備・調整

問9. 花まるタイムに参加する支援員を募集する際に、地域学校協働本部と支援員（または関係団体）の間の調整に負担を感じていますか？

【属性別】	回答数	回答			
		①	②	③	④
教職員	0	0	0	0	0
地域学校協働本部	83	24	18	30	11
公民館	24	4	3	15	2
合計	107	28	21	45	13

【町別（地域+公民館）】	回答数	回答			
		①	②	③	④
A町	14	4	4	6	0
B町	9	6	2	0	1
C町	13	3	1	9	0
D町	11	4	2	5	0
E町	9	0	4	2	3
F町	13	1	4	8	0
G町	12	3	3	6	0
H町	15	2	0	7	6
I町	11	5	1	2	3
町別計	107	28	21	45	13

回答	① まったく感じていない
選択肢	② 感じているが、やりがいがある
	③ どちらかと言えば感じている
	④ 感じている



■準備・調整

問10. 支援員の確保に関して課題になっていることを記載してください。

※回答対象：地域学校協働本部、公民館

○回答の要点・概要

【支援員の確保の方法について】

- ・各区の区長等を通して支援員を確保している。
- ・より多くの方に支援員になっていただくための仕組みづくりやしかけが必要。

【参加者の減少について】

- ・新しい支援員の確保が難しく、支援員数が減少傾向にある。
- ・コロナ禍で中断したことにより、支援員が減少した。
- ・登録だけで参加がない支援員が増えている。

【参加者の固定化について】

- ・参加する支援員が固定化している。
- ・支援員としての参加が地区や団体の役員等に集中している。

【保護者の参加について】

- ・朝の時間は（仕事があるため）、保護者が参加できない。
- ・保護者の関心が低く参加が少ない。

【花まるタイムへの理解について】

- ・取組開始から時間の経過により、地域、保護者、市教委も意義や内容の理解度が低下している。
- ・参加してもらえれば「やりがい」や「楽しみ」を感じてもらえる。

【その他】

- ・支援員をするには時間が必要。
- ・地域の高齢化等により、人材が少ない。
- ・支援員確保について、現状の方法で課題はないが、今後継続した支援ができるかが課題。

○ 回答数 55件（対象の48.7%が回答）

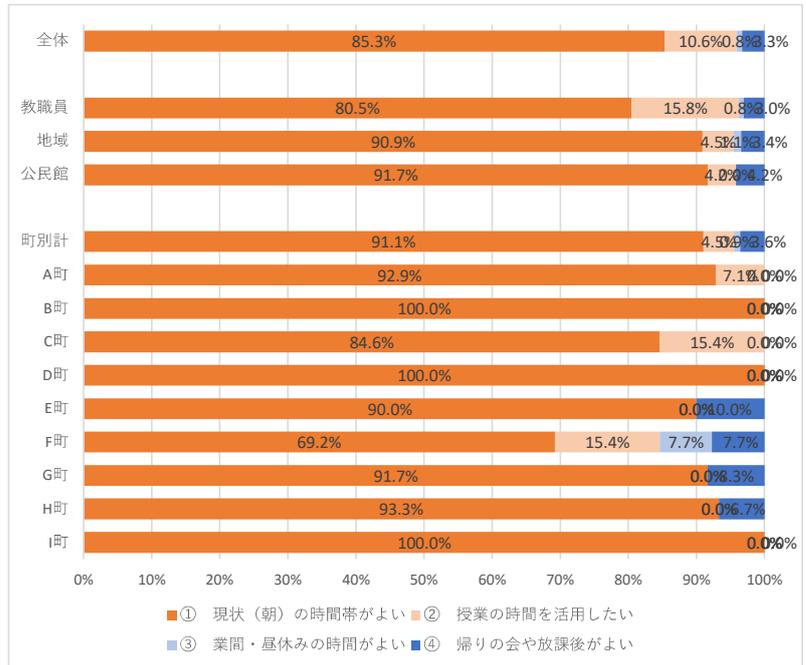
■花まるタイムの在り方

問11. 花まるタイムの実施に最も適した時間帯はどこですか？

【属性別】	回答数	回答			
		①	②	③	④
教職員	133	107	21	1	4
地域学校協働本部	88	80	4	1	3
公民館	24	22	1	0	1
合計	245	209	26	2	8

【町別（地域+公民館）】	回答数	回答			
		①	②	③	④
A町	14	13	1	0	0
B町	10	10	0	0	0
C町	13	11	2	0	0
D町	13	13	0	0	0
E町	10	9	0	0	1
F町	13	9	2	1	1
G町	12	11	0	0	1
H町	15	14	0	0	1
I町	12	12	0	0	0
町別計	112	102	5	1	4

回答	① 現状（朝）の時間帯がよい
選択肢	② 授業の時間を活用したい
	③ 業間・昼休みの時間がよい
	④ 帰りの会や放課後がよい



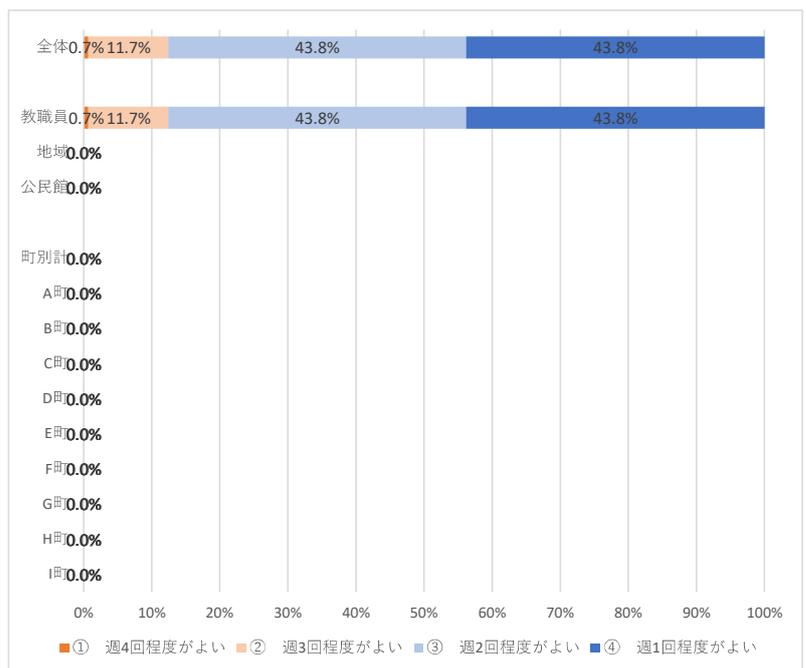
■花まるタイムの在り方

問12. 花まるタイム（支援員が入らない回も含め）について最も適した回数は週何回ですか？

【属性別】	回答数	回答			
		①	②	③	④
教職員	137	1	16	60	60
地域学校協働本部	0	0	0	0	0
公民館	0	0	0	0	0
合計	137	1	16	60	60

【町別（地域+公民館）】	回答数	回答			
		①	②	③	④
A町	0	0	0	0	0
B町	0	0	0	0	0
C町	0	0	0	0	0
D町	0	0	0	0	0
E町	0	0	0	0	0
F町	0	0	0	0	0
G町	0	0	0	0	0
H町	0	0	0	0	0
I町	0	0	0	0	0
町別計	0	0	0	0	0

回答	① 週4回程度がよい
選択肢	② 週3回程度がよい
	③ 週2回程度がよい
	④ 週1回程度がよい



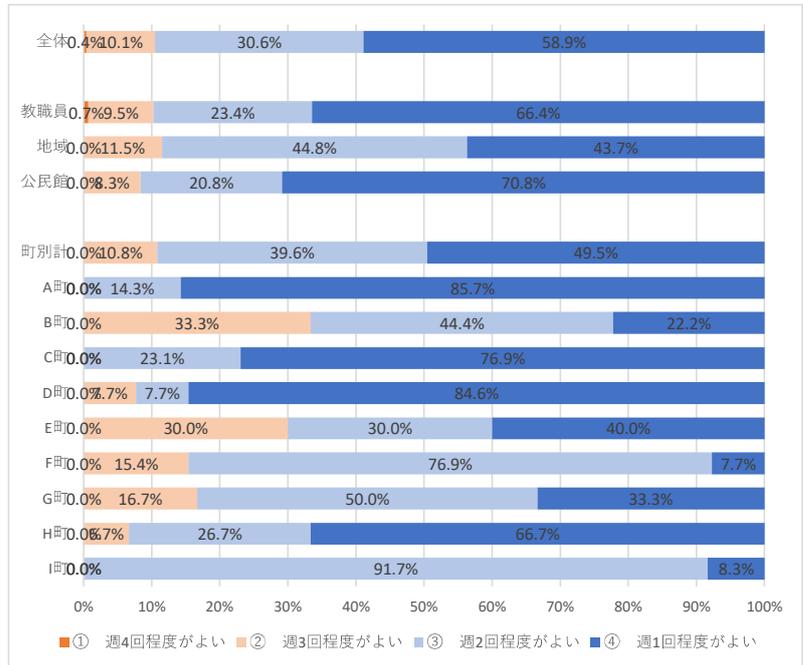
■花まるタイムの在り方

問13. 花まるタイムに支援員が入るに適した回数は週何回ですか？

【属性別】	回答数	回答			
		①	②	③	④
教職員	137	1	13	32	91
地域学校協働本部	87	0	10	39	38
公民館	24	0	2	5	17
合計	248	1	25	76	146

【町別（地域+公民館）】	回答数	回答			
		①	②	③	④
A町	14	0	0	2	12
B町	9	0	3	4	2
C町	13	0	0	3	10
D町	13	0	1	1	11
E町	10	0	3	3	4
F町	13	0	2	10	1
G町	12	0	2	6	4
H町	15	0	1	4	10
I町	12	0	0	11	1
町別計	111	0	12	44	55

回答	① 週4回程度がよい
選択肢	② 週3回程度がよい
	③ 週2回程度がよい
	④ 週1回程度がよい



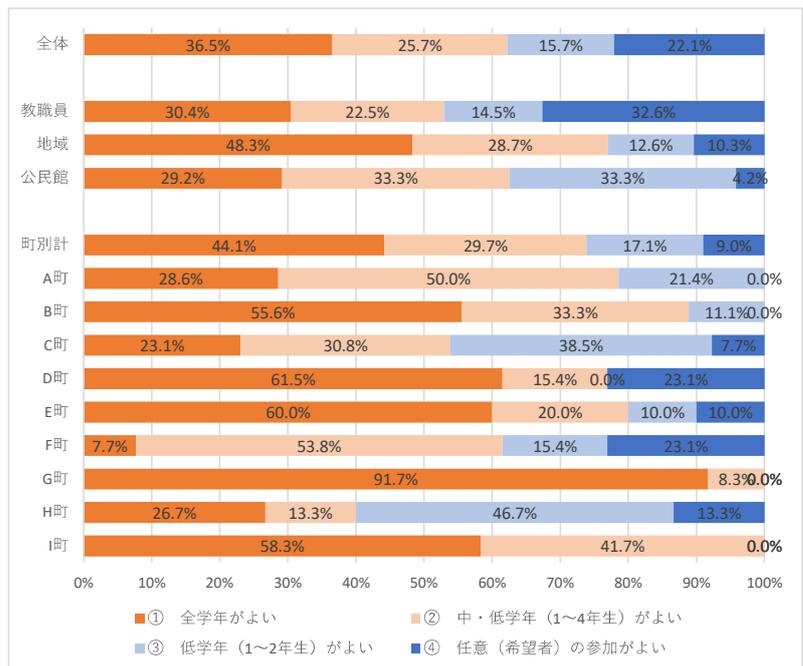
■花まるタイムの在り方

問14. 花まるタイムの実施に適した対象はどこまでですか？

【属性別】	回答数	回答			
		①	②	③	④
教職員	138	42	31	20	45
地域学校協働本部	87	42	25	11	9
公民館	24	7	8	8	1
合計	249	91	64	39	55

【町別（地域+公民館）】	回答数	回答			
		①	②	③	④
A町	14	4	7	3	0
B町	9	5	3	1	0
C町	13	3	4	5	1
D町	13	8	2	0	3
E町	10	6	2	1	1
F町	13	1	7	2	3
G町	12	11	1	0	0
H町	15	4	2	7	2
I町	12	7	5	0	0
町別計	111	49	33	19	10

回答	① 全学年がよい
選択肢	② 中・低学年（1～4年生）がよい
	③ 低学年（1～2年生）がよい
	④ 任意（希望者）の参加がよい



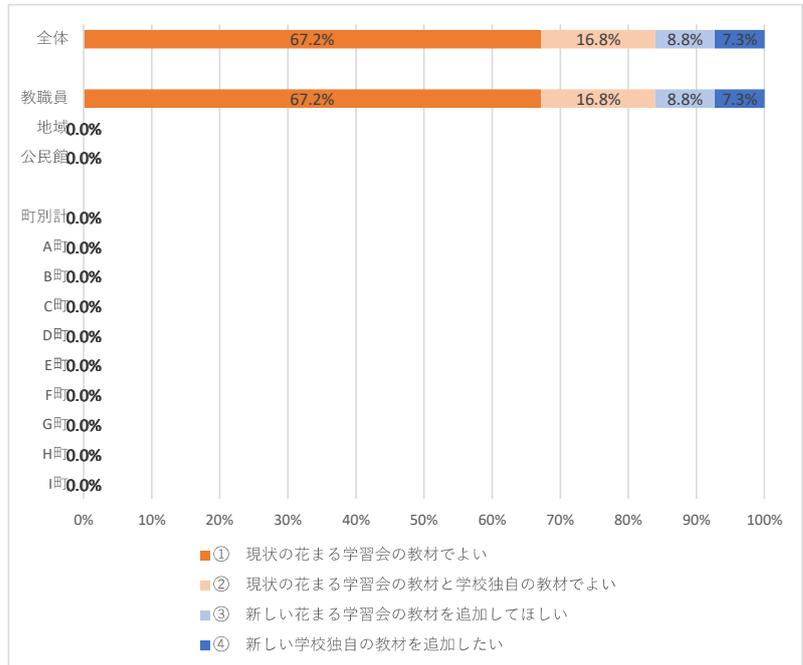
■花まるタイムの在り方

問15. 花まるタイムの各モジュールで使用する教材の種類はどのようなものがよいですか？

【属性別】	回答数	回答			
		①	②	③	④
教職員	137	92	23	12	10
地域学校協働本部	0	0	0	0	0
公民館	0	0	0	0	0
合計	137	92	23	12	10

【町別（地域+公民館）】	回答数	回答			
		①	②	③	④
武雄町	0	0	0	0	0
橘町	0	0	0	0	0
朝日町	0	0	0	0	0
若木町	0	0	0	0	0
武内町	0	0	0	0	0
東川登町	0	0	0	0	0
西川登町	0	0	0	0	0
山内町	0	0	0	0	0
北方町	0	0	0	0	0
町別計	0	0	0	0	0

- |     |                           |
|-----|---------------------------|
| 回答  | ① 現状の花まる学習会の教材でよい         |
| 選択肢 | ② 現状の花まる学習会の教材と学校独自の教材でよい |
|     | ③ 新しい花まる学習会の教材を追加してほしい    |
|     | ④ 新しい学校独自の教材を追加したい        |



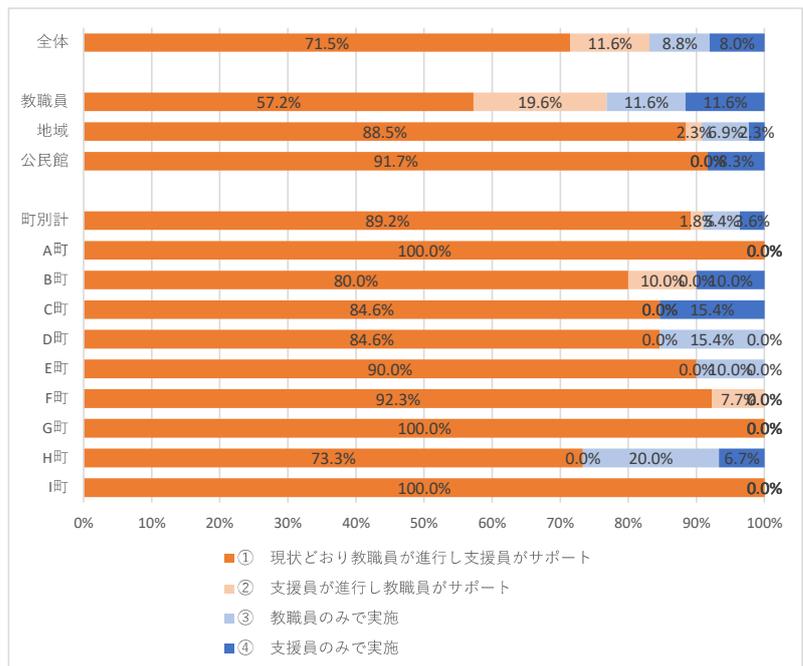
■花まるタイムの在り方

問16. 花まるタイムを実施する際に、学校と地域はどのような役割分担がよいですか？

【属性別】	回答数	回答			
		①	②	③	④
教職員	138	79	27	16	16
地域学校協働本部	87	77	2	6	2
公民館	24	22	0	0	2
合計	249	178	29	22	20

【町別（地域+公民館）】	回答数	回答			
		①	②	③	④
A町	14	14	0	0	0
B町	10	8	1	0	1
C町	13	11	0	0	2
D町	13	11	0	2	0
E町	10	9	0	1	0
F町	13	12	1	0	0
G町	13	13	0	0	0
H町	15	11	0	3	1
I町	10	10	0	0	0
町別計	111	99	2	6	4

- |     |                        |
|-----|------------------------|
| 回答  | ① 現状どおり教職員が進行し支援員がサポート |
| 選択肢 | ② 支援員が進行し教職員がサポート      |
|     | ③ 教職員のみで実施             |
|     | ④ 支援員のみで実施             |



## ■準備・調整

問17. 今後の花まるタイムの運営の在り方について、感じていることを自由に記載してください。（自由記述）

※回答対象：教職員、地域学校協働本部、公民館

○回答の要点・概要（教職員回答分）

### 【花まるタイムの実施回数について】

- ・週3回の花まるタイムの実施については、負担が大きい。
- ・花まるタイムの実施により、学級活動や行事の準備、授業の補充（教科学習の定着）の時間の確保が難しい。

### 【花まるタイムの実施時間、朝の時間の使い方について】

- ・花まるタイムの実施により、朝の会や健康観察、係活動等の時間等が確保できない。
- ・朝の時間は読書タイムや教科の基礎充実などに充てたい。
- ・学校に求められるが増えている中で、欠席児童など個々への対応が必要なため、学校の裁量を増やしたい。
- ・朝の時間にすべきことが多く、教師の働き方改革の観点も必要。

### 【花まるタイムの教材・指導方法について】

- ・低学年にとって教材の内容が難しい。
- ・児童によっては教材の難易度があわない。賑やかは空間が苦手な児童には不向き。
- ・教科書に準拠したドリルやコミュニケーションスキルなど学校独自のメニューを取り入れたい。
- ・誤答に対して花丸をつけることに疑問が残る。誤答を訂正することも必要。
- ・教職員自身の指導がマンネリ化している。
- ・地域と一緒に学習することは有意義。

○回答の要点・概要（地域・公民館回答分）

### 【支援員の確保について】

- ・支援員は高齢者が多く、保護者が少なく、固定化されている。
- ・多くの方に参加してもらうため、募集方法の工夫が必要。
- ・支援員は希望者とする方法が良い。（地区・団体動員でないほうがよい）

### 【花まるタイムの意義・目的について】

- ・時間の経過とともに、児童も地域の人も目的が分からないまま、実施している。事あるごとに目的を明確化することが大事。

### 【地域連携について】

- ・支援員が教壇から子どもたちと対話できる機会があるとよい。
- ・できる人ができることをやる。当番制でなくやらされ感がないので楽しみで参加できている。
- ・教室の中を見ることができ、学校がより身近に感じられる。
- ・支援員間のコミュニケーション・交流の場にもなっている。
- ・今後の在り方については、学校、地域など多くの人の意見を踏まえながら各町ごとに方向性を考えるべき。
- ・花まるタイムの短い時間ではつながりを深めることは難しい。地域行事への参加を推進するなどの連携方法がよいのではないかと。

### 【花まるタイムの効果分析について】

- ・花まるタイムによる子どもたちの効果が見えない。効果検証が必要。
- ・効果検証の結果については、区長会はじめ広く周知することが必要。
- ・花まるタイムによる成長の変化を卒業生や、中学校、高校の先生の意見も聞きたい。

### 【花まるタイムの対象学年について】

- ・低学年は楽しみながらできている。
- ・学年が上がるにつれ、慣れが出て負担になっている。

### 【花まるタイムの効果分析について】

- ・子どもたちの学び（学力/生活）に効果が出ているか分からない。
- ・費やした活動時間に対する成果がすくない。
- ・毎年のアンケートなどをフィードバックして振り返る体制が必要。

### 【教職員の負担感について】

- ・学校・教職員の負担を感じる。行事の精選検討に花まるタイムを含めるべき。

### 【地域連携について】

- ・地域、公民館の支援・サポートはとても有難い。児童も喜んでいる。
- ・花まるタイムのやり方が学級により異なるので、地域の方も毎回戸惑いがあるのではないかと。
- ・花まるタイム以外でも、昼休みの見守りや、水泳・調理実習などの見守りなど別の形の連携もあるのではないかと。
- ・より支援員と児童の関係が深まるような取り組みがあってもよい。

### 【その他】

- ・花まるタイムをなくしてほしい。総合的に判断して不要。
- ・子どもたちをみんなで育てるとする市の施策（大綱）に合致している。継続していきたい。
- ・学習内容、授業数が増える中、タブレット活用や働き方改革を進めなければならず、時間の確保が課題。
- ・意義や目的は理解できるが、教材や地域連携を上手く活用できていない。

### 【教職員の負担感について】

- ・花まるタイムの実施については、学校・教職員の負担が大きいため、実施・継続については、学校・教職員の意見を尊重すべき。
- ・花まるタイム以外にも地域から積極的に学校に関わるしくみづくりが必要。

### 【その他】

- ・花まるタイムや支援員について、子どもたちの意見が聞きたい。
- ・現状どおりのやり方であれば参加しやすい。継続してほしい。
- ・花まるタイムの地域支援に対する負担の声があり、再検討して欲しい。事業を終了してほしい。
- ・ついてこれない児童がおざなりになったり、真剣に取り組んでいない児童もいる。また、花まるを付けられることを快く思っていない児童もいる。

## ○回答数

教職員 74件（対象の53.6%が回答）

地域・公民館 57件（対象の50.4%が回答）